

平成21年度

相模原市自然環境観察員制度

年次報告書



相模原市

はじめに

相模原市では、市民と行政が一体となって本市の自然環境を調査することにより、身近な自然に目を向け自然環境に対する関心を高め、環境保全意識の高揚を図るとともに大切な自然を監視・保全していくための基礎資料を継続的に集積していくため、平成13年度に市民ボランティアによる「自然環境観察員制度」を設置しました。

平成21年度は、79名の皆様のご参加をいただき、全体テーマ調査や専門部会調査を実施いたしました。

この報告書は、自然環境観察員の皆様一人ひとりが「今の相模原の自然」を注意深く、生きものたちの命の息遣いを感じながら、地道に調査した記録や活動内容をまとめたものです。

活動結果や皆様から寄せられたご意見を活かし、相模原市の自然環境がより良いものになるよう、また、本制度が市民の皆様方に根付き、活動の輪が広がるよう、本書をご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、本制度の運営にあたりご協力をいただきました、自然環境観察員の皆様に心からお礼申し上げます。

平成23年 3月

相模原市立環境情報センター

目次

第1章	自然環境観察員制度について	1
1	自然環境観察員の募集	1
2	自然環境観察員制度の概要	1
3	実施内容	2
第2章	身近な生きもの調査	3
1	全体テーマ調査	3
1. 1	調査区域とテーマの選定	3
1. 2	外来植物の調査	10
2	自主テーマ調査	25
3	任意参加調査	33
4	専門部会調査	34
4. 1	植物調査部会	34
4. 2	湧水調査部会	36
4. 3	河川生物相調査部会	39
4. 4	野鳥調査部会	39
第3章	かんきょう学習セミナー	48
1	第1回かんきょう学習セミナー	48
2	第2回かんきょう学習セミナー	48
3	第3回かんきょう学習セミナー	48
第4章	全体調査企画会議	49
1	第1回全体調査企画会議	49
2	第2回全体調査企画会議	49
3	第3回全体調査企画会議	49

4	第4回全体調査企画会議	49
5	第5回全体調査企画会議	50
6	第6回全体調査企画会議	50
7	第7回全体調査企画会議	50
第4章 その他の活動		51

資料編

- 1 調査の手引き
 - 外来植物の調査
- 2 自然観察かわらばん
 - 自然観察かわらばん（平成21年度第1号）
 - 自然観察かわらばん（平成21年度第2号）
- 3 ご意見・ご感想

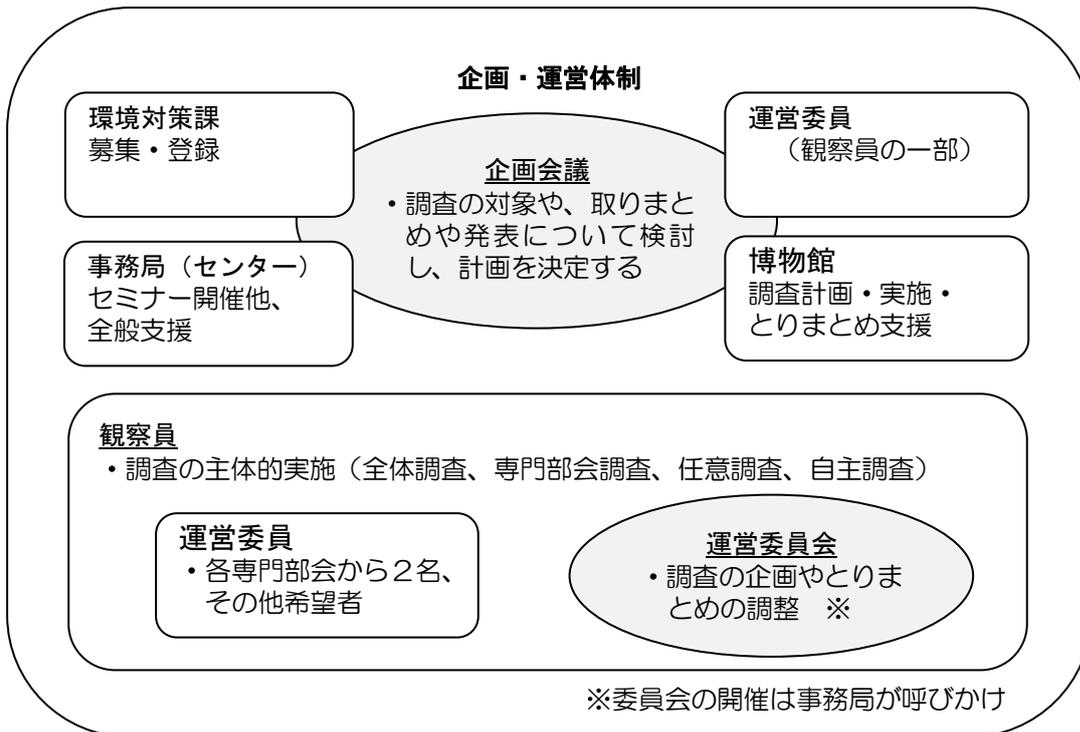
第1章 自然環境観察員制度について

1 自然環境観察員の募集

観察員の募集は「広報さがみはら」（平成21年3月1日号）などで行いました。
様々な世代の方からご応募をいただき、79名を「相模原市自然環境観察員」として登録しました。

2 自然環境観察員制度の概要

本制度の運営及び活動については、以下のとおりです。



身近な生きもの調査 (調査事業)

<p>全体テーマ調査（全観察員対象）</p> <p>動植物の分布調査</p>
<p>専門部会調査（希望者対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物調査部会 湧水調査部会 河川生物相調査部会 野鳥調査部会
<p>任意参加調査（随時）</p> <p>従来のメッシュを使わないテーマ調査</p>
<p>自主テーマ調査</p> <p>目撃情報の報告など自主的に行う調査（随時）</p>

かんきょう学習セミナー (学習活動)

<ul style="list-style-type: none"> ○身近な生きもの調査の対象種についての説明会 ○自然環境観察に関する各種学習会 ○身近な生きもの調査の対象種についての現地観察会
--

その他 (事業連携・広報活動)

<p>さがみはら環境まつりへの参加</p> <p>調査結果等を広く情報提供するとともに相互の交流を図る。</p>
<p>「エコネットの輪」への登録、講師派遣</p> <p>調査結果等を広く情報提供するとともに環境学習及び環境活動を支援する。また、各層の人材育成を図る。</p>

3 実施内容

(1) 身近な生きもの調査

	調査項目	実施時期
1	全体テーマ調査	
	外来植物（オオブタクサ、ブタクサ、オナモミ類、アメリカオニアザミ）の調査	平成21年9月6日～10月4日
2	任意調査	
	アメリカオニアザミの分布調査 オナモミの地方名調査	平成21年9月6日～10月4日
2	自主テーマ調査	随時
3	専門部会調査	
	植物調査部会	平成21年6月14日 他
	湧水調査部会	平成21年9月27日 他
	河川生物相調査部会	平成21年7月11日
	野鳥調査部会	平成21年5月9日 他

(2) かんきょう学習セミナー

	実施内容	実施日	参加者数
1	制度説明、本年度の運営方針、全体調査説明 事務局職員	平成21年 4月26日	40人
2	外来植物について 市立博物館 秋山 幸也さん 調査方針および調査の手引き説明、まとめ作業について 事務局職員	平成21年 9月6日	49人
3	平成21年度実施報告 事務局職員	平成22年 3月13日	46人

第2章 身近な生きもの調査

1 全体テーマ調査

1. 1 調査区域とテーマの選定

相模原市は、平成18・19年に津久井町、相模湖町、城山町、藤野町と合併し、県民の水がめである相模湖、津久井湖などの湖や緑豊かな自然環境を有するようになりましたが、自然環境観察員制度は平成10年度から平成12年度までに行われた旧相模原市域の自然環境基礎調査の結果が反映された相模原市環境基本計画(平成13年3月策定)に基づき運営していることから、身近な生きもの調査も旧相模原市域を中心に実施しています。

全体テーマ調査では、従来のとおり、旧相模原市内を500×500mのメッシュに区分し、担当のメッシュを決め、このメッシュを単位として生きものの調査を行い、調査結果をとりまとめました。(図1-1・表1-1参照)

平成21年度の調査テーマについては、制度が発足した平成13年度から調査してきた指標動植物種を平成18年度から追跡調査していることなどから、平成16年度に調査を行った「外来植物の調査」といたしました。



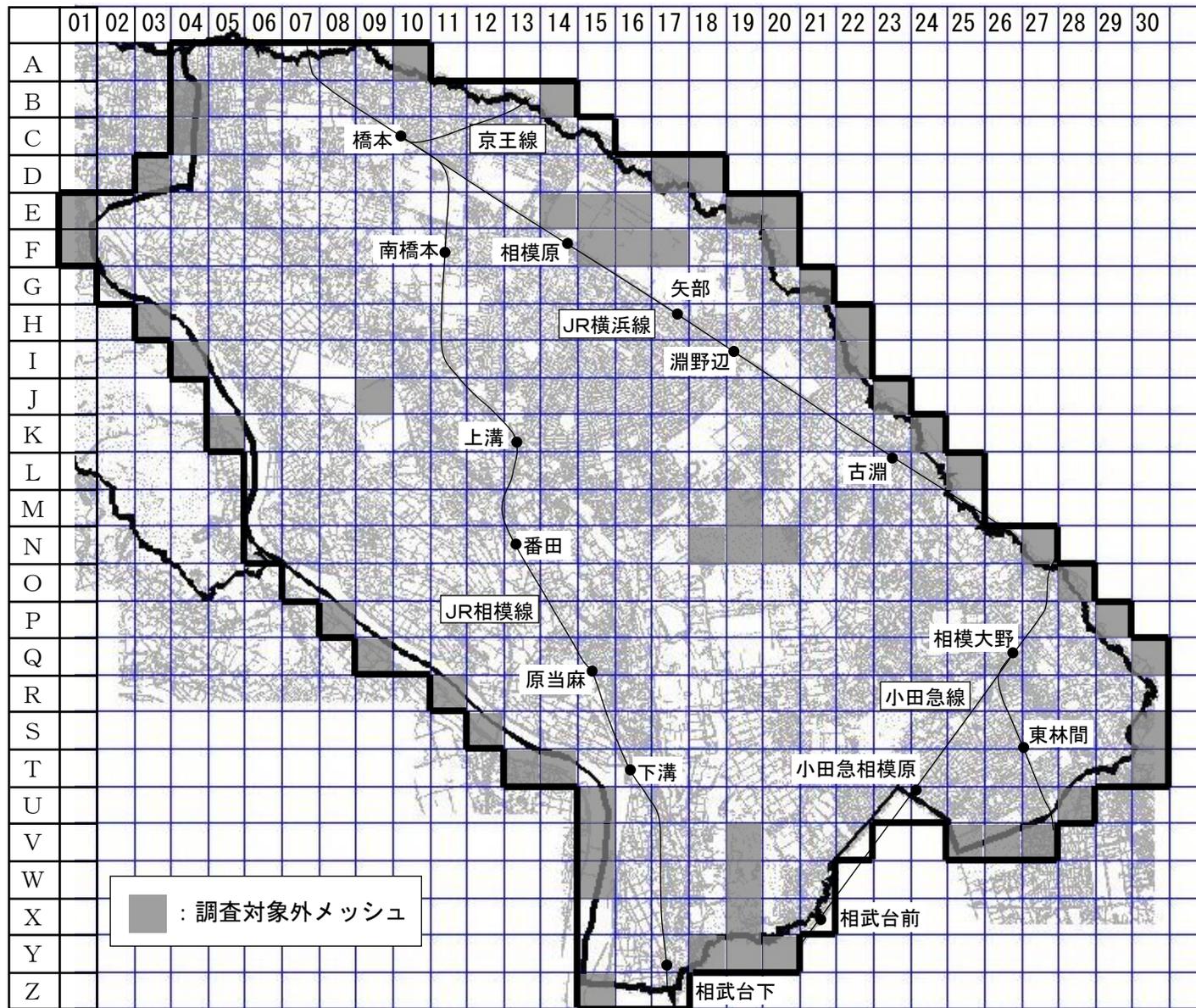


図 1-1
メッシュ見取り図

表1-1 メッシュ目印一覧

メッシュ 番号	目 印	メッシュ 番号	目 印
A04	華蔵院、森下バス停	D14	すすきの町、こばと児童館
A05	相原当麻田自治会館、相原保育園	D15	宮下本町1丁目、補給廠北側
A06	当麻田小学校西側、新町幼稚園	D16	補給廠北側
A07	当麻田小学校東側、JR 横浜線	E02	カインズホーム南側
A08	元橋本町交差点、相模原インドアテニス	E03	大島、井上養鶏場、スリーエフ
A09	瑞光寺、橋本本町バス停	E04	県営大島団地、市営上九沢住宅
B05	相原小学校	E05	下九沢内出交差点
B06	星の子保育園、新日鐵エンジニアリング	E06	職業能力開発総合大学校
B07	相原中学校、大和製罐	E07	相模原北公園、北清掃工場
B08	橋本高校、橋本郵便局	E08	橋本台収集事務所
B09	旭小学校	E09	橋本自動車学校
B10	北消防署、橋本4丁目市街地住宅	E10	国道16号、129号、セントラル自動車
B11	宮上小学校東側、蓮乗院	E11	小山小学校、大河原陸橋
B12	東橋本ひまわり保育園	E12	小山2丁目 たけのこ保育園
B13	境川坂本橋、天縛皇神社	E13	向陽小学校西側、矢掛立体交差
C05	二本松こどもセンター	E17	補給廠北側、上矢部1丁目付近
C06	日本板硝子	E18	上矢部2丁目、御嶽神社
C07	ロイヤルホームセンター、大和製罐	F02	諏訪森下橋
C08	北警察署、オラリオンマンション	F03	相模川自然の村、ピレッジ若あゆ
C09	相原高校、協同病院	F04	大島幼稚園、長徳寺
C10	JR橋本駅	F05	大島小学校、相模原総合高校
C11	相模原みどり幼稚園	F06	相模原総合高校東側
C12	東橋本2丁目交差点、田村電機製作所	F07	六地藏交差点
C13	小山白ゆり幼稚園	F08	上中の原団地、フードワン
C14	宮下本町2丁目、境川昭和橋	F09	橋本ゴルフセンター
C15	宮下本町1丁目、境川小山橋	F10	柴胡ヶ原墓地、東プレグランド
D04	二本松保育園	F11	JR南橋本駅
D05	内出中学校北側、湘北病院	F12	ホームセンターコーナン東側
D06	職業能力開発総合大学校	F13	氷川神社東側
D07	峡の原工業団地	F14	JR相模原駅
D08	ホームセンターくろがねや	F18	補給廠東北側、富士工業
D09	国道16号、東京電力橋本変電所	F19	相模つばさ幼稚園
D10	旭中学校	G02	相模川、諏訪森下頭首工
D11	小山公園スポーツ広場	G03	神奈川県内水面試験場
D12	宮下1丁目、協栄産業前バス停	G04	老人福祉センター溪松園
D13	三菱電機	G05	ロシナンテ、井上醬油

メッシュ 番号	目 印	メッシュ 番号	目 印
G06	大沢小学校	I08	三菱重工業北門
G07	九沢小学校、大沢中学校	I09	田名葛輪、NTT田名電話交換センター
G08	大沢団地、いなげや	I10	てるて幼稚園
G09	塚場交差点	I11	横山小学校
G10	国道129号、日電寮バス停	I12	横山公民館
G11	日本電気橋本技術センター、JR相模線	I13	相模原高校
G12	清新6丁目付近、清新小学校西側	I14	JA農協会館
G13	清新小学校	I15	税務署、相模原中央病院
G14	ダイエー、さがみ夢大通りバス停	I16	富士見小学校
G15	相模原4~6丁目付近	I17	国道16号鹿沼台交差点
G16	伊藤病院、補給廠	I18	鹿沼公園、市立図書館
G17	上矢部団地、麻布大学西側	I19	共和中学校、JR淵野辺駅
G18	麻布大学、麻布大淵野辺高校	I20	淵野辺5丁目、青山学院大学
G19	大野北中学校	I21	淵野辺本町4丁目 皇武神社
G20	日枝神社、境川宮前橋	J05	相模川、神沢不動尊
H04	大島、相模川	J06	清岩寺、古清水自治会館
H05	大島交差点、法性寺	J07	三菱重工業南側
H06	日々神社、相和病院	J08	三菱重工業南門
H07	JA営農センター	J10	国道129号、鳩川、四ッ谷児童館
H08	明神平自治会こども広場、田名葛輪	J11	上溝1丁目、横山丘陵緑地(蛭沢地区)
H09	九沢橋、金泉寺	J12	横山公園、よこやま幼稚園、日金沢橋
H10	下九沢団地	J13	さがみはらグリーンプール
H11	昭和電線ケーブルシステム	J14	星が丘1丁目、横山歩道橋
H12	小町通2丁目、清新学校給食センター	J15	千代田5丁目付近
H13	清新中学校	J16	千代田4丁目、千代田保育園
H14	相模原消防署	J17	市営東団地、弥栄郵便局
H15	相模原市役所	J18	国道16号淵野辺十字路
H16	村富神社	J19	国道16号共和4丁目歩道橋、コジマ
H17	JR矢部駅	J20	共和2丁目付近、新田稻荷神社
H18	淵野辺総合病院、矢淵陸橋	J21	カルピス、相模中央自動車学校
H19	淵野辺小学校	J22	東淵野辺2丁目付近、龍像寺
H20	東京電力大野変電所、グルメシティ	K06	清水保育園、清水入口バス停
H21	根岸橋	K07	田名清水、田名ひだまり公園
I05	神沢スポーツ広場、神沢不動尊	K08	田名四ッ谷自治会子ども広場
I06	水場バス停	K09	新キャタピラー三菱西側
I07	三菱重工業西側	K10	国道129号、新キャタピラー三菱

メッシュ 番号	目 印	メッシュ 番号	目 印
K11	鳩川幼稚園、市営鳩川住宅	M10	相模田名高校
K12	上溝本町交差点、姥川橋	M11	新宿小学校
K13	JR上溝駅、上溝中学校	M12	上溝南中学校
K14	星が丘小学校	M13	南上溝保育園、亀ヶ池八幡宮
K15	OKストア	M14	道保川公園西、丸崎ゴルフ練習場
K16	並木小学校	M15	道保川公園、七曲り、陽光台公民館
K17	弥栄小学校、弥栄中学校	M16	緑が丘中学校北側
K18	市立博物館、宇宙科学研究所	M17	青山学院大学グラウンド
K19	共和小学校南側、由野台中学校	M18	青葉3丁目 青葉の郷
K20	国道16号共和交差点、大野台郵便局	M20	相模原ゴルフクラブ入口・大野台中央小
K21	国道16号嶽の内入口付近	M21	相模原養護老人ホーム
K22	たけのうち幼稚園、淵野辺東小学校	M22	大野台小学校
K23	古淵1丁目、淵野辺東小学校東側	M23	南消防署大沼分署
L06	相模川（右岸に葉山島青少年広場）	M24	市営斎場
L07	堀の内交差点、田名北ふれあい広場	M25	古淵鶴野森公園、グリーンハイツ
L08	田名北小学校	N06	田名八幡宮、相模川小沢頭首工
L09	八千代銀行田名支店	N07	水郷田名団地、高田橋
L10	田名工業団地入口バス停	N08	田名半在家・田名陽原、南光寺
L11	上溝高校南側、石橋自治会館	N09	田名テラス、田名団地
L12	上溝小学校、ちとせ橋交差点	N10	田名バーディゴルフ
L13	全農ミート	N11	田名新宿
L14	陽光台小学校	N12	国道129号上溝南中学校信号
L15	陽光園、光が丘小学校	N13	JR番田駅
L16	青葉小学校、県営上溝団地	N14	安楽寺、上溝南こどもセンター
L17	弥栄高校、相模原球場	N15	上溝虹吹、清泉の郷
L18	銀河アリーナ、淵野辺公園	N16	緑が丘中学校、消防署緑が丘分署
L19	由野台中学校南側、松が丘2丁目交差点	N17	相模原浄水場
L20	大野台中央小学校北側、凸版印刷	N21	大野台8丁目、木もれびの森
L21	大野台公民館	N22	大野台中学校
L22	シマチュウホームセンター、ジャスコ	N23	慰霊塔、相模ひまわり幼稚園
L23	JR古淵駅、イトーヨーカドー	N24	相模原南警察署
L24	JR横浜線古淵陸橋	N25	鶴野森中学校
M06	田名幼稚園	N26	鶴野森団地、幸延寺
M07	相模川ふれあい科学館	O07	相模川高田橋
M08	田名小学校、田名中学校	O08	望地弁天キャンプ場
M09	相模田名高校西側、たんぽぽの家	O09	バス折返場（望地キャンプ場入口）

メッシュ 番号	目 印	メッシュ 番号	目 印
○10	田名聖地霊園	P27	谷口幼稚園、谷口中学校北側
○11	田名塩田4丁目 東急建設工場	P28	谷口小学校
○12	テクノパル田名工業団地	Q10	相模川（望地キャンプ場下流）
○13	上溝南高校	Q11	スーパーアルプス、田名病院
○14	上溝南小学校南側、諏訪神社	Q12	JA緑化センター
○15	姥川中ノ虹橋、山谷バス停	Q13	夢の丘小学校、当麻市場交差点
○16	下溝古山公園スポーツ広場	Q14	光明学園相模原高校、相模原養護学校
○17	神奈川中央交通麻溝操車場	Q15	JR原当麻駅北側、スーパー三和
○18	北里大学	Q16	姥川下原橋（横浜水道道）
○19	麻溝台高校	Q17	県立相模原公園
○20	北里2丁目、相模原ゴルフクラブ	Q18	県立相模原公園
○21	木もれびの森、大野台8丁目バス停	Q19	麻溝台工業団地、KYB
○22	西大沼3丁目、4丁目付近、大沼変電所	Q20	麻溝台2丁目、ニコン
○23	大沼小学校、大沼神社、大沼公民館	Q21	麻溝台中学校
○24	老人福祉センター若竹園	Q22	双葉小学校
○25	若松小学校	Q23	御園東ふれあい広場
○26	鶴野森3丁目付近 鹿島台小学校	Q24	谷口台小学校
○27	鹿島台小学校	Q25	市南合同庁舎、ロビーシティ
P09	田名望地、望地の渡し	Q26	小田急相模大野駅、伊勢丹
P10	リバーサイド田名ホーム	Q27	相模大野病院、谷口中学校
P11	カインズホーム、塩田さくら橋	Q28	鶴園小学校北側、稲荷神社
P12	テクノパイル田名工業団地、塩田ホーム	Q29	上鶴間本町8丁目付近 上鶴間橋
P13	塩田原交差点、東京電力北相模変電所	R12	相模川、相模原ポンプ場
P14	東京電力北相模変電所、スーパーなかや	R13	如来堂、無量光寺
P15	当麻 あざみがや交差点	R14	当麻東原公園、水田
P16	当麻 上中丸交差点	R15	麻溝小学校
P17	相模原沈殿池	R16	天応院
P18	北里大学病院	R17	麻溝公園スポーツ広場
P19	麻溝台高校	R18	麻溝公園
P20	北里大学東病院	R19	総合体育館南側
P21	相模台収集事務所、木もれびの森	R20	麻溝台保育園
P22	グレープの里、大沼交差点	R21	顕正寺、ひかり幼稚園
P23	大沼小学校南側、若松郵便局	R22	御園4、5丁目、ふれあいの森
P24	神奈川総合産業高校、相模女子大学	R23	みゆき台団地バス折返所
P25	大野南中学校、相模大野高校	R24	豊町、黒河内病院
P26	相模大野中央公園、国道16号谷口陸橋	R25	県高相合同庁舎、プラザシティ

メッシュ 番号	目 印	メッシュ 番号	目 印
R26	新町中学校北側	T29	くぬぎ台保育園、深堀ポンプ場
R27	消防上鶴間分署、南大野幼稚園	U16	三段の滝下広場
R28	上鶴間公民館、大野小学校	U17	相陽中学校、誠心相陽幼稚園
R29	鶴園小学校南側、長島神社	U18	勝坂歴史公園スポーツ広場
R30	中和田幼稚園、上鶴間高校	U19	新磯野、相武台中学校北側
S13	昭和橋上流河川敷	U20	もえぎ台小学校、相武台高校
S14	昭和橋スポーツ広場	U21	相武台団地
S15	水田、八景の棚	U22	相模台3・4丁目
S16	姥川谷戸橋、上谷開戸橋	U23	相模台2丁目、(座間市相模が丘)
S17	相陽台ホーム、相模が丘病院	U24	小田急相模原駅、相南4丁目
S18	廃棄物処分場	U25	東海大相模高校
S19	小松会病院	U26	消防東林分署
S20	若草小学校、消防麻溝台分署	U27	東林間8丁目付近
S21	桜台小学校、相模台中学校、国立病院	V16	磯部頭首工公園、郷土民族資料館
S22	相模台小学校	V17	消防新磯分署、磯部八幡宮、勝坂遺跡
S23	南台4丁目、上鶴間(米軍住宅)	V18	磯部2114付近 勝源寺
S24	南台郵便局、コナミスポーツクラブ	V20	相武台グリーンパーク
S25	鶴の台小学校	V21	相武台小学校
S26	森下記念病院	V22	行幸道路、村富線交差付近
S27	くぬぎ台小学校	W16	能徳寺、御嶽神社
S28	相模林間幼稚園	W17	新磯小学校、新磯保育園
S29	住宅展示場、上鶴間高校南側	W18	新戸、米軍キャンプ
T15	相模川 光明学園野球場	W20	緑台小学校、新磯野郵便局
T16	JR下溝駅	W21	相武台出張所
T17	相陽中学校、大下坂	X15	相模川
T18	峰山霊園、勝坂青少年広場	X16	新戸、水田
T19	新磯野、峰山霊園入口交差点	X17	新磯出張所、れんげの里あらいそ
T20	若草中学校	X18	新磯高校
T21	相模台団地	X20	キャンプ座間No4ゲート
T22	相模台出張所	X21	小田急相武台前駅
T23	鶴ヶ丘団地	Y15	新戸スポーツ広場北側
T24	松が枝公園、小田急線	Y16	新戸、泰成建工
T25	東林保育園	Y17	JR相模線相武台下駅、長松寺、
T26	東林出張所、東林小学校	Z16	JR相武台下駅西側地域、水田
T27	東芝林間病院	Z17	JR相武台下駅南側
T28	上鶴間中学校		

1. 2 外来植物の調査

(1) 調査期間

平成21年9月6日～10月13日（設定期間9月6日～10月4日）

(2) 調査方法

担当メッシュの中で、任意の場所3～5地点を選び、調査対象種（オオブタクサ、ブタクサ、オナモミ類、アメリカオニアザミ）があるかどうかを確認し、調査した地点を記録票の地図に記入し、番号をつけ種名、個体数（本数）を調査票に記入しました。また、オナモミ類については果実を採集しました。現地では確認本数を、種類別に「1～5本」「6～10本」「11本以上」の3つの区分によって記録しました。

なお、アメリカオニアザミを担当メッシュ以外で発見した場合には、任意調査として記録しました。

(3) 調査対象メッシュ

市内の総メッシュ数は417ですが、平成16年度、平成21年度調査で調査したメッシュは表1-2-1のとおりです。調査メッシュ数は平成16年度に対して11メッシュ増えています。

表1-2-1 調査メッシュ数（H21年度は任意調査を除く）

	調査メッシュ	未調査メッシュ	調査対象外メッシュ	総メッシュ
H16年度	321	38	58	417
H21年度	332	27	58	417



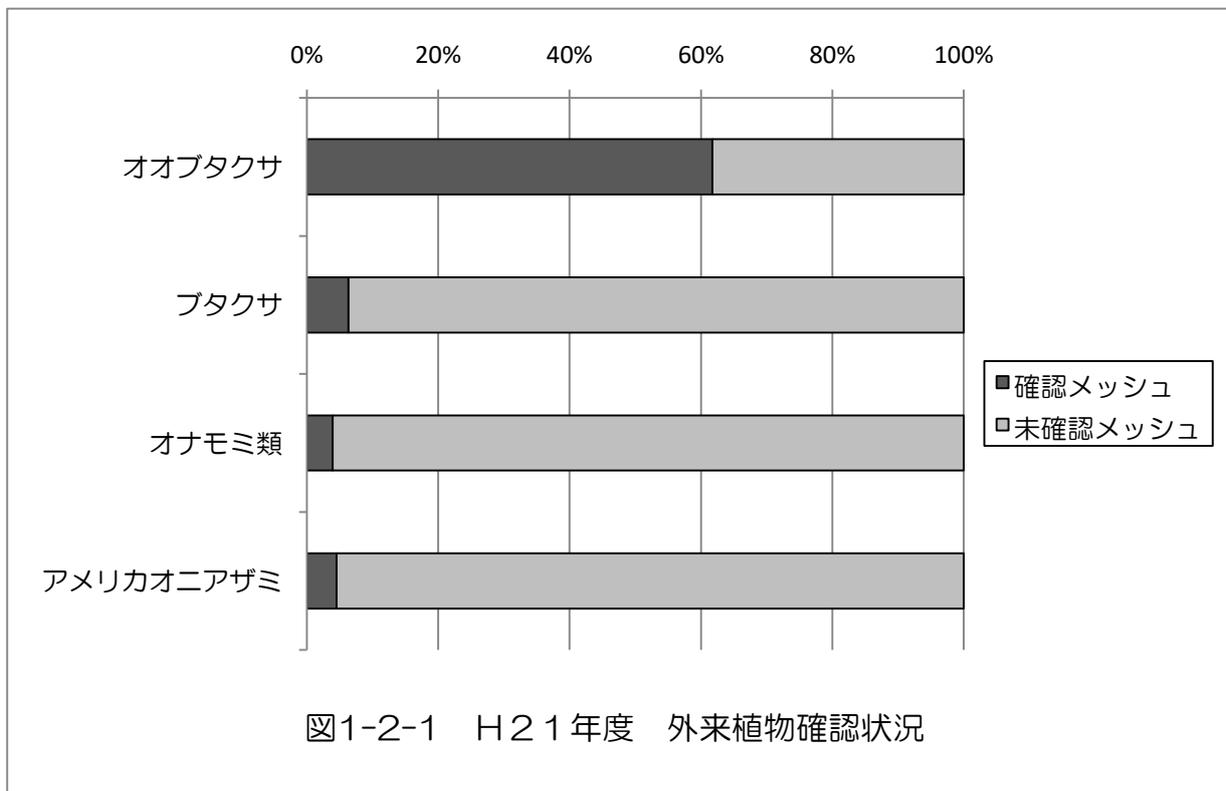
(4) 調査結果

①平成21年度の確認状況

平成21年度における外来植物の確認状況は、表1-2-2のとおりです。

表1-2-2 H21年度 外来植物確認状況

	確認メッシュ		未確認メッシュ		合計	
	メッシュ数	割合	メッシュ数	割合	メッシュ数	割合
オオブタクサ	205	61.7%	127	38.3%	332	100%
ブタクサ	21	6.3%	311	93.7%	332	100%
オナモミ類	13	3.9%	319	96.1%	332	100%
アメリカオニアザミ	15	4.5%	317	95.5%	332	100%



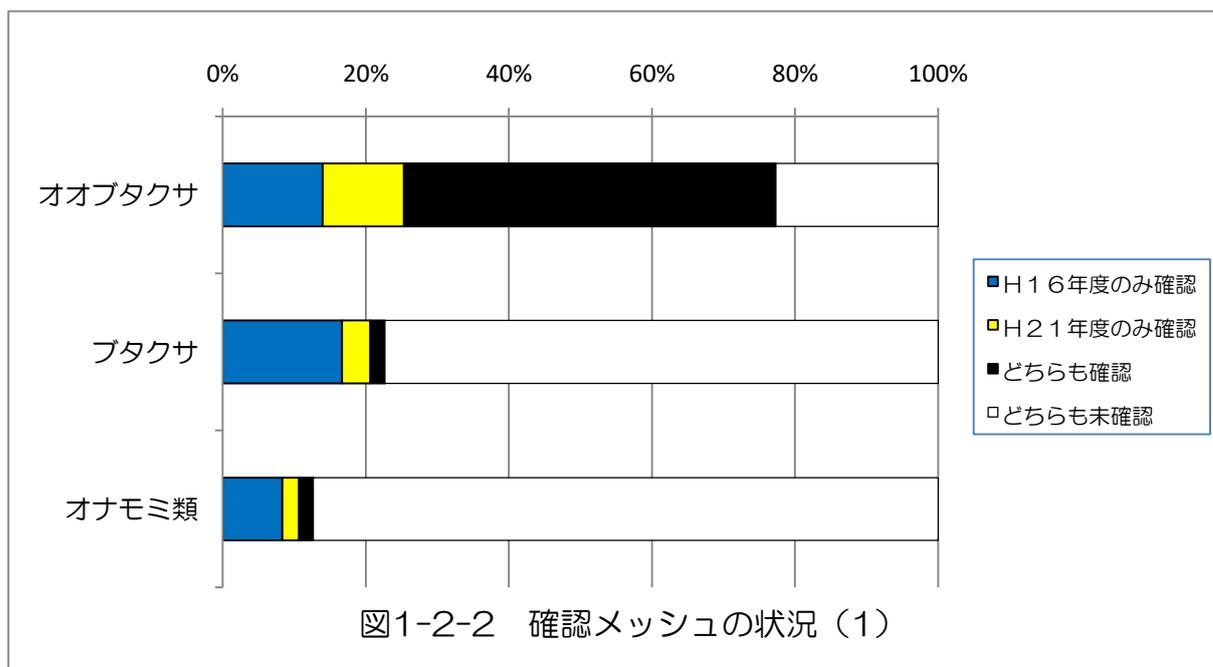
②確認メッシュの状況（１）

平成16年度と21年度の両年度で調査が実施された300メッシュにおける確認メッシュの状況は表1-2-3のとおりです。なお、平成16年度にはアメリカオニアザミの調査を実施しなかったため、表に示していません。

※総メッシュ417のうち次のものを除きました。平成16年度末調査メッシュ38、平成21年度末調査メッシュ27、調査対象外メッシュ58。

表1-2-3 確認メッシュの状況（1）

	H16年度のみ確認	H21年度のみ確認	どちらも確認	どちらも未確認	計
オオブタクサ	42	34	156	68	300
	14.0%	11.3%	52.0%	22.7%	100%
ブタクサ	50	12	6	232	300
	16.7%	4.0%	2.0%	77.3%	100%
オナモミ類	25	7	6	262	300
	8.3%	2.3%	2.0%	87.3%	100%

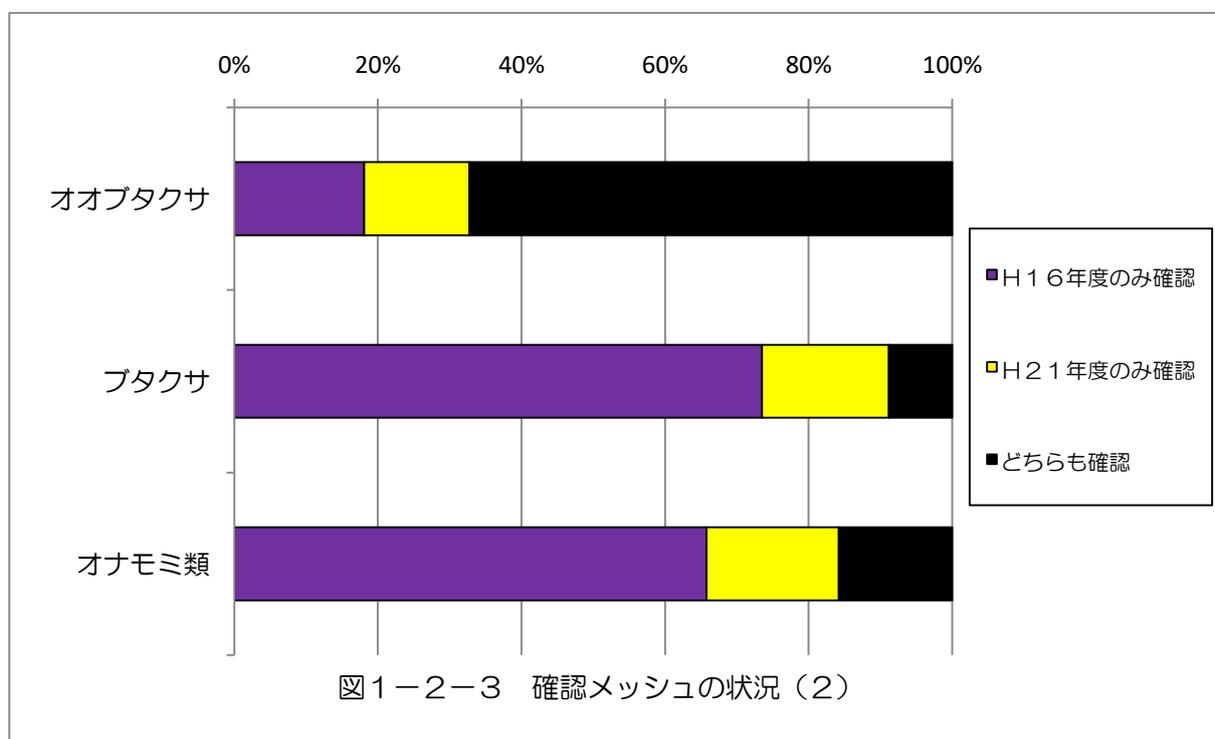


③確認メッシュの状況（2）

②確認メッシュの状況（1）のうち、調査対象種を確認できたメッシュのみで比較した状況は表1-2-4のとおりです。

表1-2-4 確認メッシュの状況（2）

	H16年度のみ確認	H21年度のみ確認	どちらも確認	計
オオブタクサ	42	34	156	232
	18.1%	14.7%	67.2%	100%
ブタクサ	50	12	6	68
	73.5%	17.6%	8.8%	100%
オナモミ類	25	7	6	38
	65.8%	18.4%	15.8%	100%

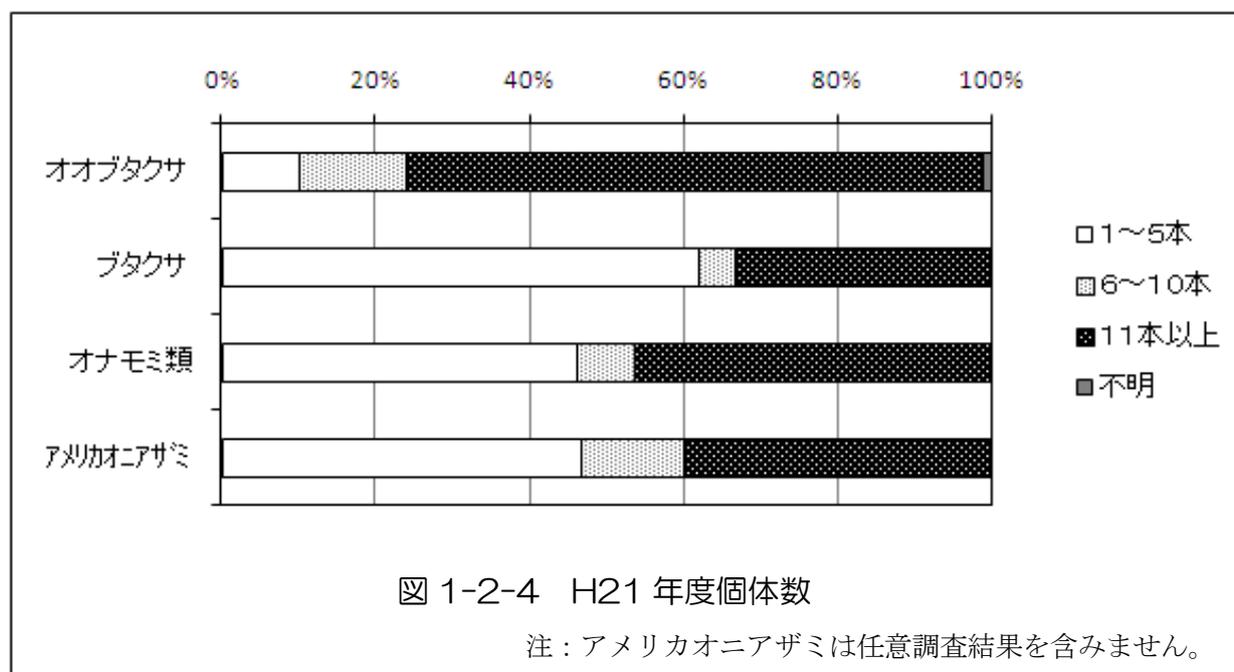


④個体数の状況

調査対象種の個体数は表1-2-5のとおりです。個体数は、各メッシュで最も個体数が多い地点の個体数区分をそのメッシュの個体数として、集計しました。

表1-2-5 個体数の状況

			1～5本	6～10本	11本以上	不明	合計
オオブタクサ	メッシュ数		21	28	154	2	205
	割合		10.2%	13.7%	75.1%	1.0%	100.0%
ブタクサ	メッシュ数		13	1	7	0	21
	割合		61.9%	4.8%	33.3%	0.0%	100.0%
オナモミ類	メッシュ数		6	1	6	0	13
	割合		46.2%	7.6%	46.2%	0.0%	100.0%
アメリカ オニアザミ	任意調査 含まず	メッシュ数	7	2	6	0	15
		割合	46.7%	13.3%	40.0%	0.0%	100.0%
	任意調査 含む	メッシュ数	19	4	12	0	35
		割合	54.3%	11.4%	34.3%	0.0%	100.0%



⑤外来植物の分布状況

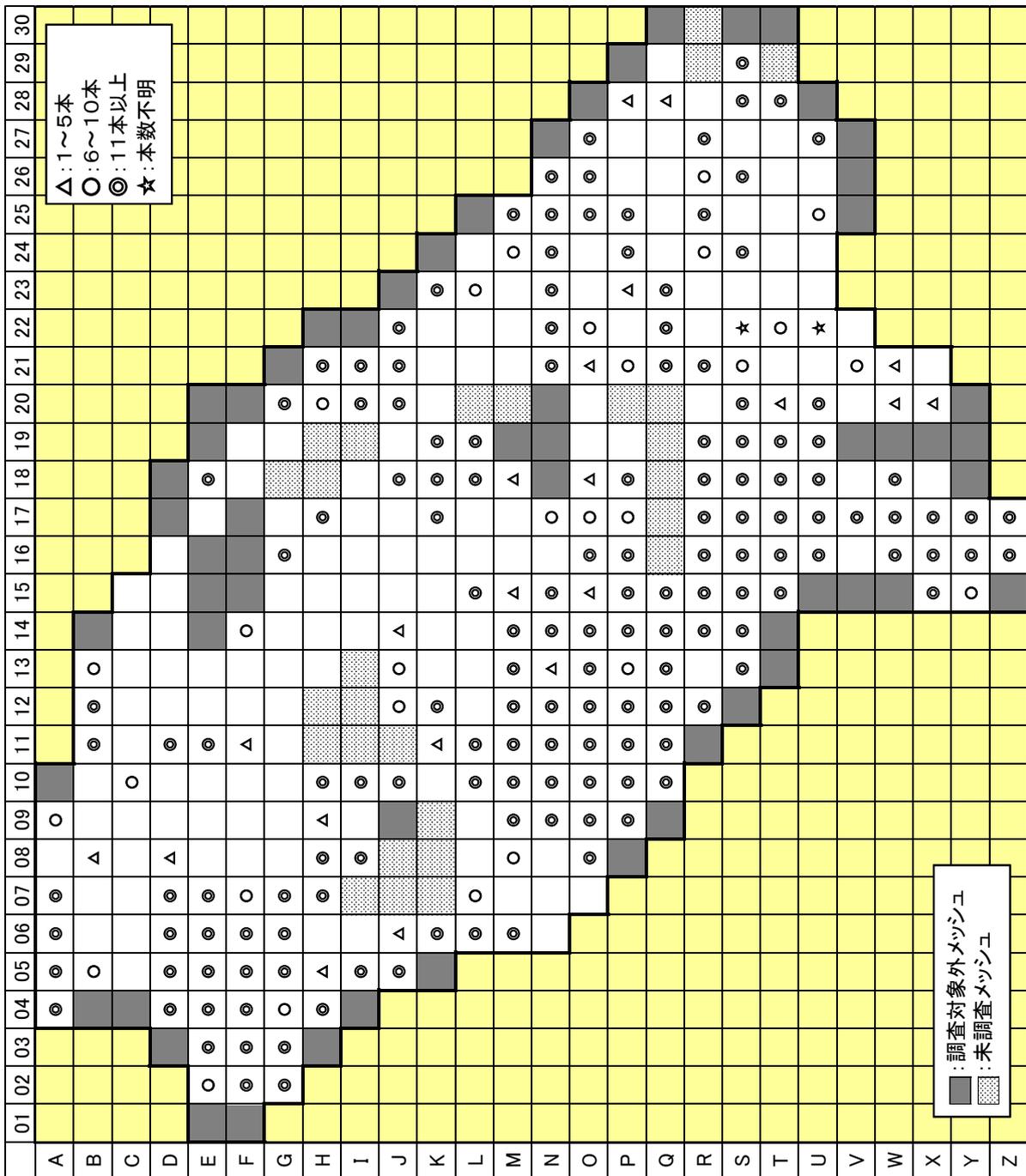


図1-2-5
H21年度分布状況(オオブタクサ)

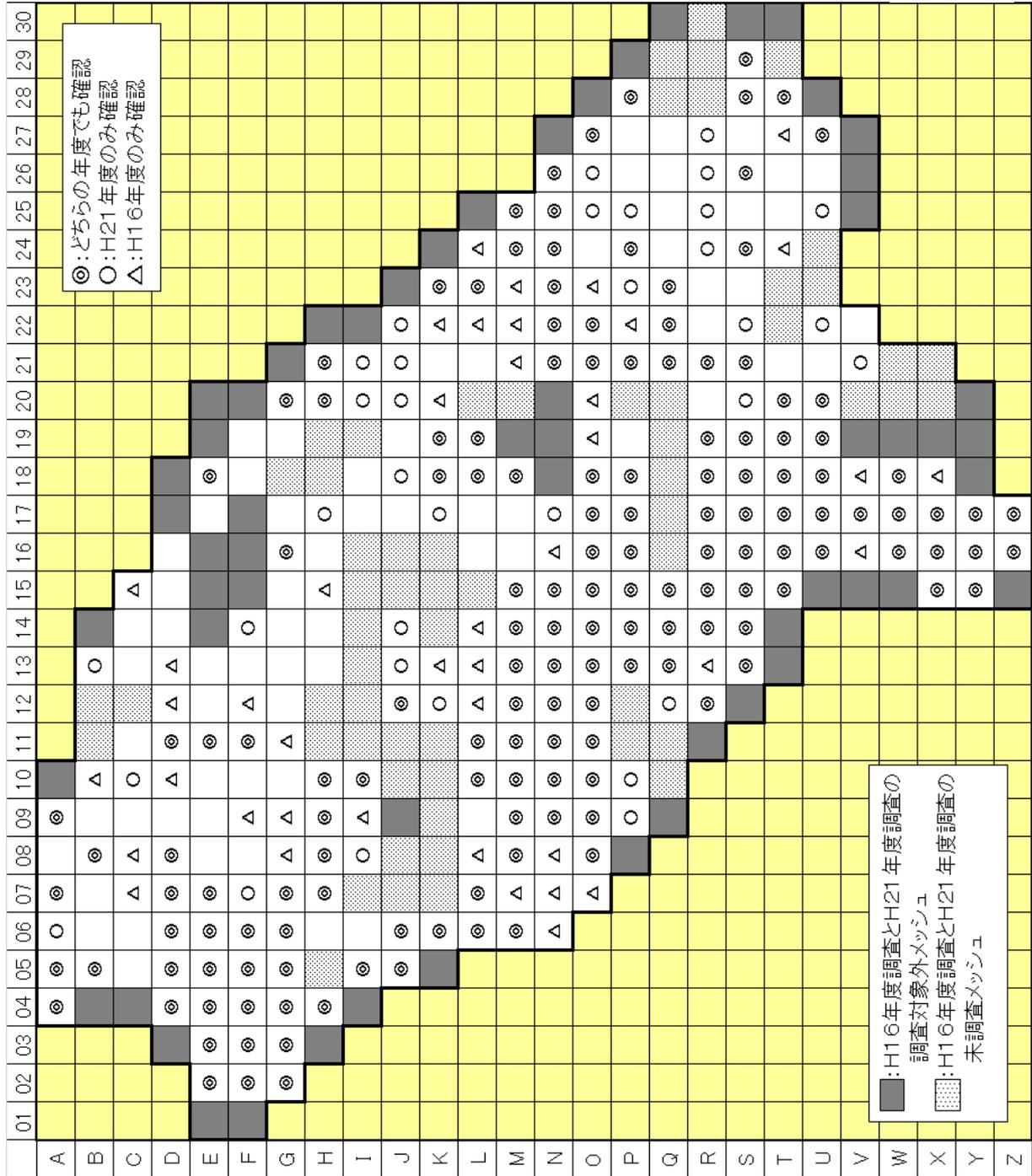


図1-2-6
 H16年度とH21年度分布状況の比較
 (オオブタクサ)

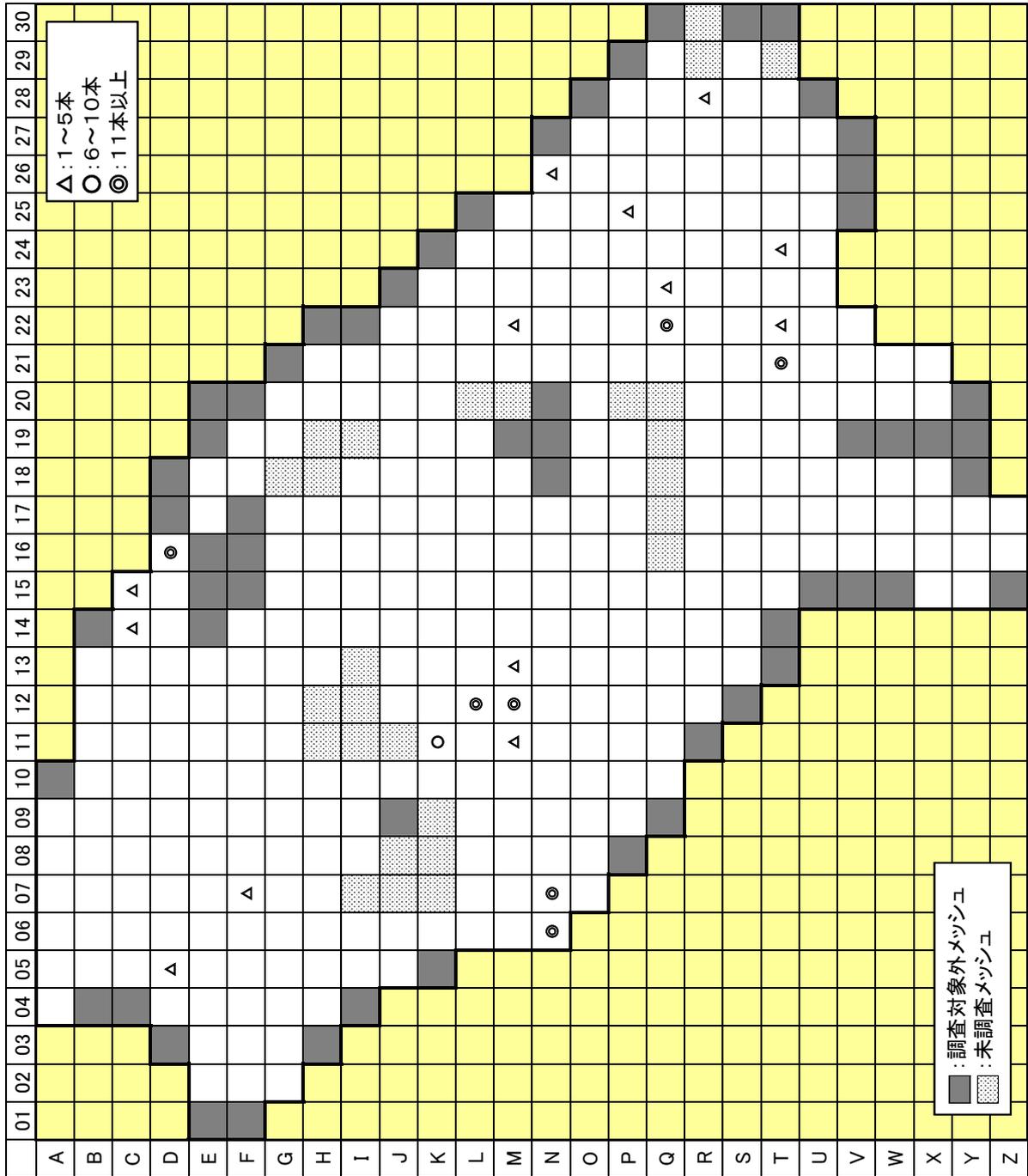


図1-2-7
H21年度分布状況(ブタクサ)

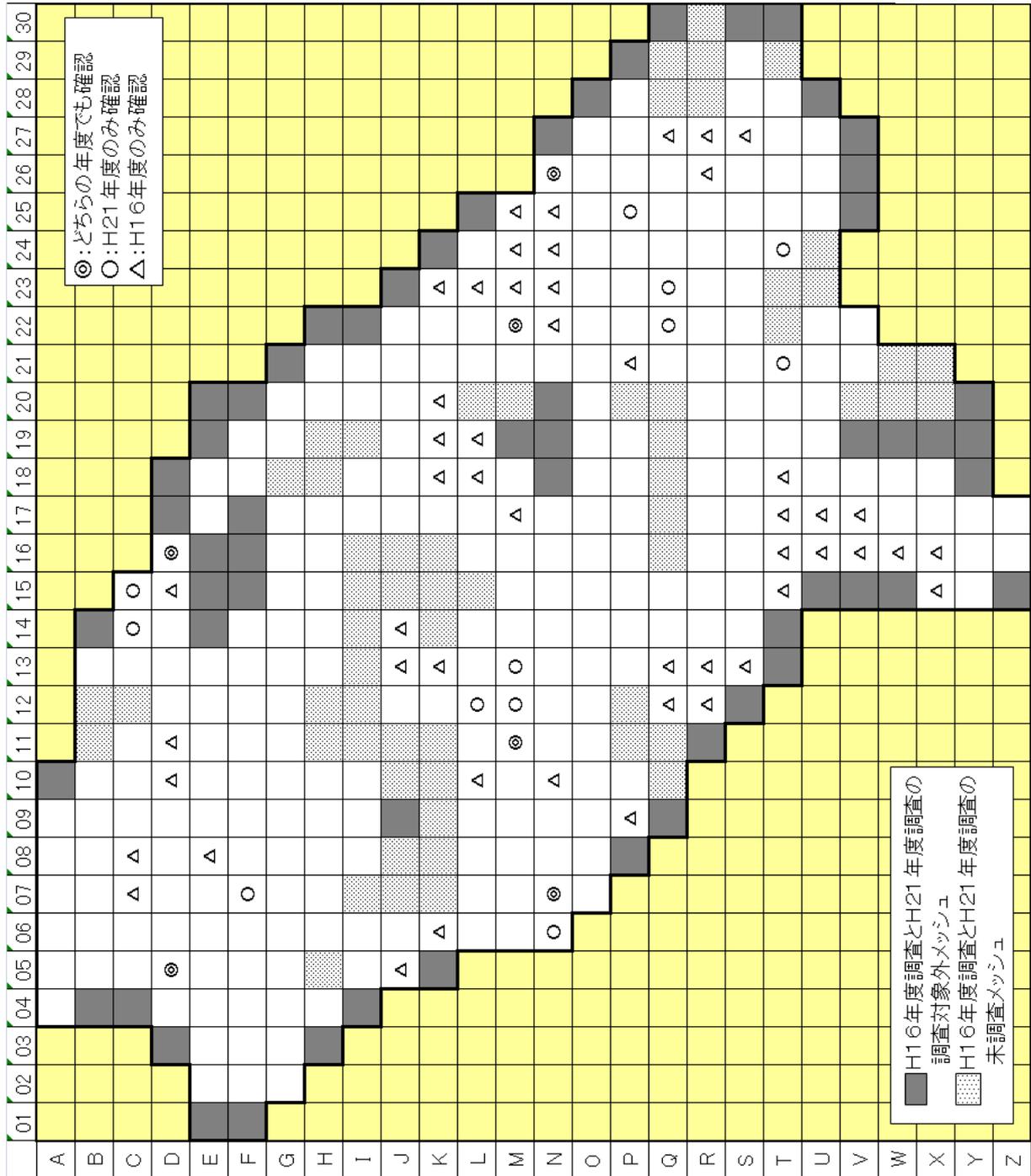
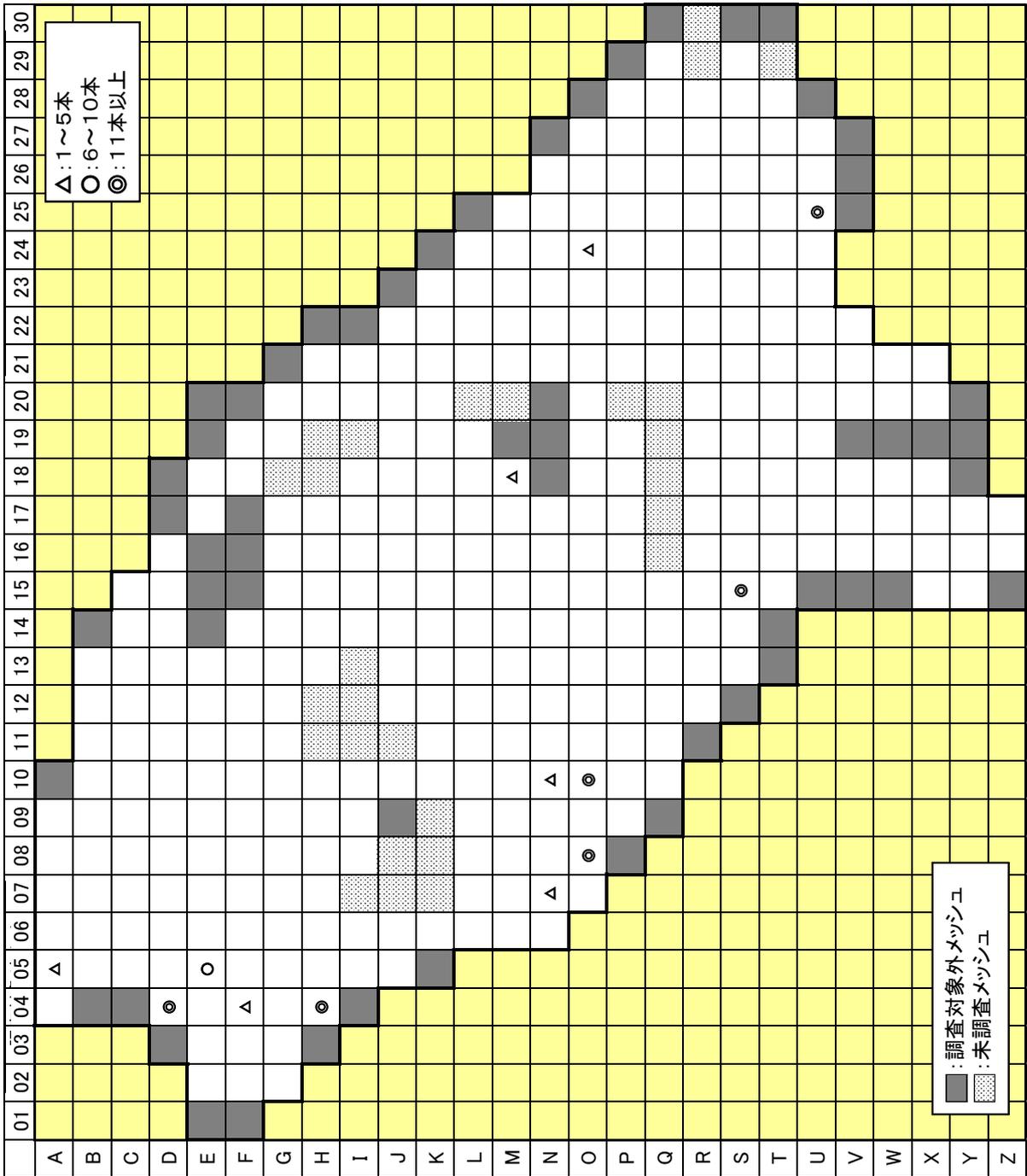


図1-2-8
 H16年度とH21年度分布状況の比較
 (ブタクサ)



■ : 調査対象外メッシュ
 □ : 調査メッシュ
 ○ : 未調査メッシュ

Δ : 1~5本
 O : 6~10本
 ◎ : 11本以上

図1-2-9
 H21年度分布状況(オナモミ類)

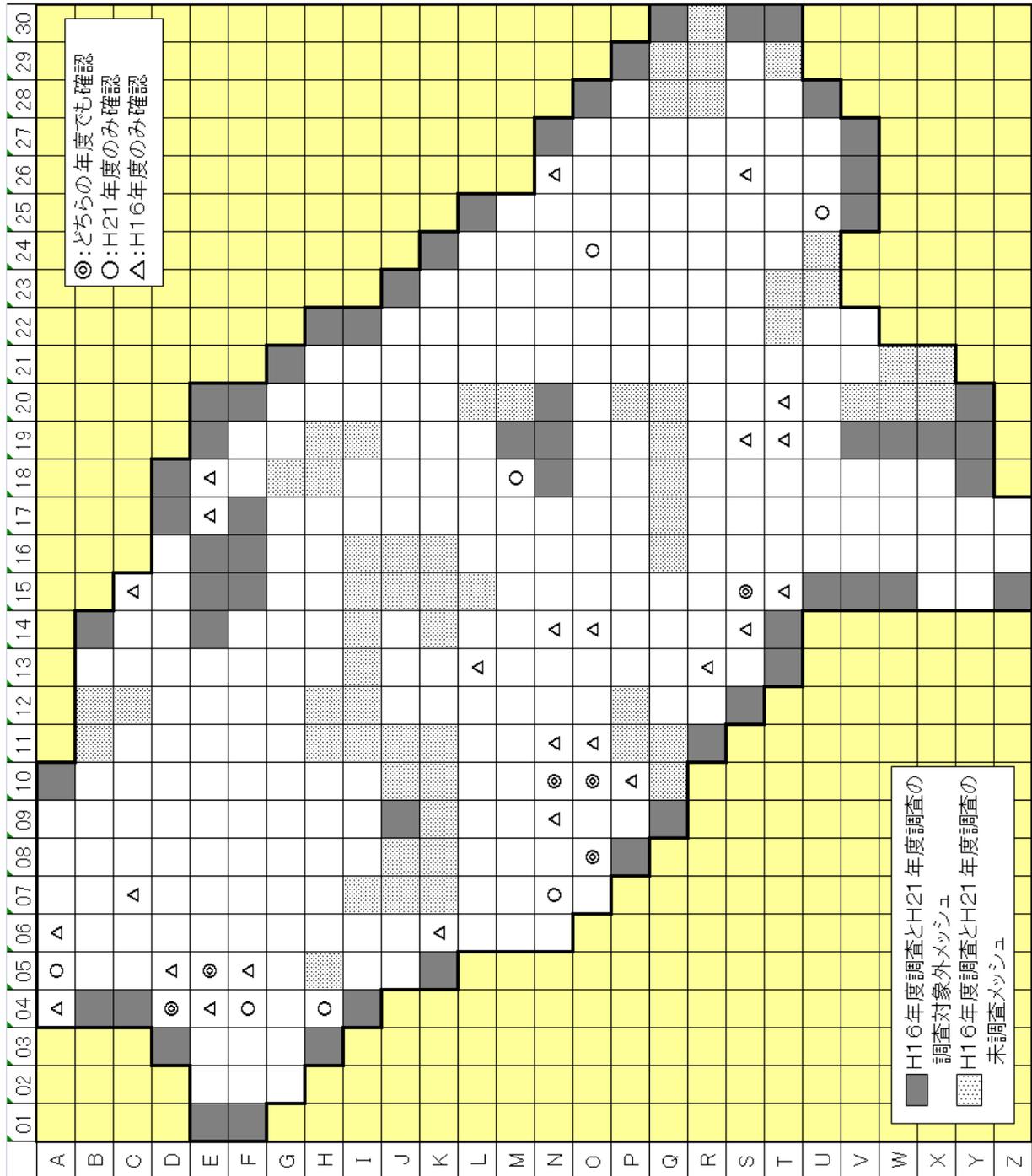
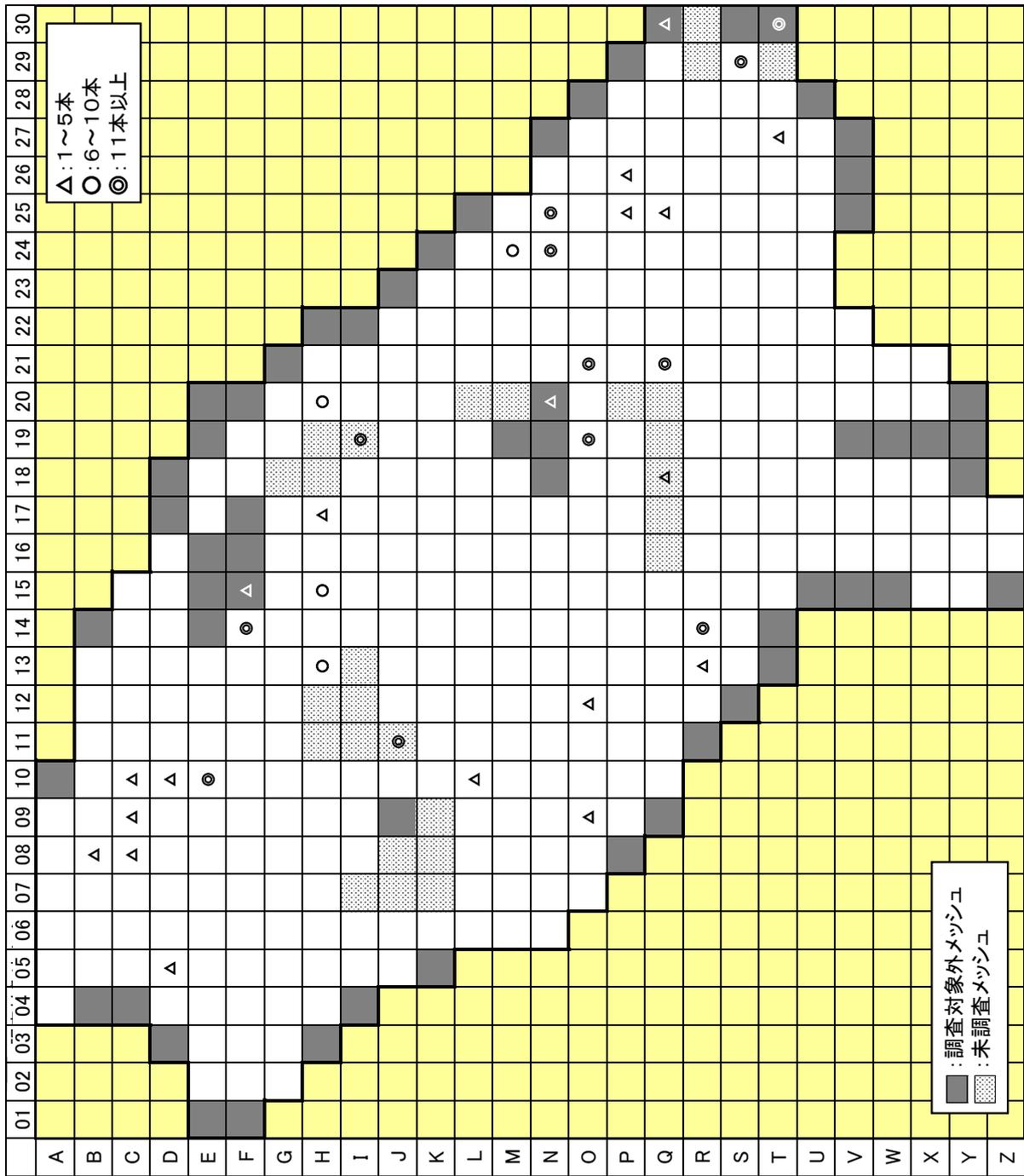


図1-2-10
 H16年度とH21年度分布状況の比較
 (オナモミ類)



△: 1~5本
 O: 6~10本
 ◎: 11本以上

■: 調査対象外メッシュ
 □: 未調査メッシュ

図1-2-1-1
 H21年度分布状況（アメリカオニアザミ）
 注）任意調査結果を含むため、調査対象外メッシュや未調査メッシュにも記録があります。

(5) まとめ

●概要

オオブタクサは確認されたメッシュが多く、調査メッシュの61.7%で確認されました。それに対し、ブタクサ、オナモミ類、アメリカオニアザミは確認されたメッシュが少なく、調査メッシュのそれぞれ6.3%、3.9%、4.5%で確認されました(表1-2-2)。

●経年変化に関する考察

平成16年度と比較すると、オオブタクサ、ブタクサ、オナモミ類のいずれも、減少しています。しかし減少の程度はオオブタクサではわずかで、ブタクサとオナモミ類では顕著でした。

オオブタクサは、平成16年度と平成21年度の両年度で確認できたメッシュのうち、どちらの年度でも確認されたメッシュが最も多く、67.2%でした。ついで平成16年度でのみ確認されたメッシュが多く、18.1%、平成21年度でのみ確認されたメッシュは14.7%でした(表1-2-4)。

一方、ブタクサとオナモミ類は、平成16年度と平成21年度の両年度で確認できたメッシュのうち、平成16年度でのみ確認されたメッシュがそれぞれ73.5%と65.8%で、平成21年度でのみ確認されたメッシュ(それぞれ17.6%と18.4%)よりはるかに多く、オオブタクサよりも減少が著しいと考えられます。また、どちらの年度でも確認されたメッシュはブタクサでは8.8%、オナモミ類では15.8%でした(表1-2-4)。

●個体数

オオブタクサは11本以上確認された地点が含まれるメッシュが最も多く、全体の75.1%を占め、1~5本が確認された地点しか含まないメッシュは全体の10.2%しかありませんでした。それに対し、ブタクサとオナモミ類、アメリカオニアザミは1~5本が確認された地点しか含まないメッシュが全体の46~62%を占めました(アメリカオニアザミは任意調査を含まない)。ただし、ブタクサとオナモミ類、アメリカオニアザミは、11本以上確認されたメッシュも少なくはなく、全体の33~47%を占めました(表1-2-5)。

以上の事から、オオブタクサは1地点に多数の個体が生えている場所が多いのに対し、ブタクサとアメリカオニアザミは1地点に少数の個体が生えている場所も比較的多いことが分かりました。

●結論

オオブタクサは、確認されたメッシュが多く、また、1地点に多数の個体が生えていることが多く、平成16年度調査と比較してわずかに減少しているものの、大きな変化はありませんでした。それに対し、ブタクサとオナモミ類は平成16年度よりも明らかに減少しており、確認されたメッシュも少ない結果になりました。減少が見られた理由としては、空地が少なくなったこと、草刈りがされたこと、などが推定されますが、オオブタクサに比べてブタクサとオナモミ類が顕著に減少した理由は、はっきりしません。

アメリカオニアザミは平成16年度に調査を実施していないため、経年変化は分かりませんが、確認されたメッシュは少なく、1地点での個体数も少ない結果となりました。

(6)「全体調査まとめワークショップ」

今年度の運営は、なるべく皆で参加するという考え方で実施しました。その一つとして、全体調査の結果を、ワークショップ形式によって、皆で見直してみようという試みを行いました。

①目的

皆であつまって、結果のまとめに関わることを目的としました。

②実施日時

- 第1回 平成21年12月8日(火) 9:30~12:00 参加者人数:16人
- 第2回 平成21年12月15日(火) 9:30~12:00 参加者人数:17人

③話しあいの進め方

「原因を決め付けない」ことを約束事としました。観察された現象は、いろいろな原因が組み合わさって起こっているはずですが、この場で結論付けることは困難であり、まず、事実を確認した上で、原因をしりたくなったら、「何を調べれば確かめられるか」を皆で考えることにしました。

●第1回

4人のグループを4つ作り、調査結果の概要をもとに、グループ内で討議しました。討議した内容は、グループごとに模造紙にまとめました。

●第2回

1つの調査対象種に1枚のメッシュ図(模造紙大)を使用し、確認されたメッシュにシールを貼りました。その際、シールの色によって、個体数が分かるようにしました。その後、完成したメッシュ図を見ながら意見交換しました。

④主な意見・感想

●オオブタクサ

- 群生していて、かなり多いが、無い所には全く無い。
- 森の縁に多く、大きな駅の周り、団地や住宅地には見られなかった。

●ブタクサ

- 前回より少なかったが、調査時期が遅く、刈り取られたためかもしれない。

●オナモミ類

- 昔はかなりあったらしい。
- 減少したのは湿地帯が減ったからかもしれない。

●アメリカオニアザミ

- 対象種かどうか確認するのがむずかしかった。
- タイアザミは結構あった。
- 道路と関係があるのかもしれない。

●全体

- 平成16年度と平成21年度では、調査結果に大分、差があると感じた。
- 減少した理由は、草刈りが多くなったためではないか。この5年間に草刈機が普及したのかもしれない。
- 空き地が減少し、宅地化が進んだ影響があるのではないか。
- 境川沿いではオオアレチウリが多く、対象種は追いやられたのではないか。
- 境川斜面地の野草、灌木は環境上残し、保護したい。
- 生えてもよさそうなところに生えていない理由が知りたい。
- オオブタクサとブタクサの競争はあるのか?
- 環境の変化との因果関係を調べたらどうか。
- 興味を持つ人が増えることが大切。
- 旧市のように既に外来種が多い状況の中で、外来種の問題をどのように考えるか、難し

い。

- 1人で調査するだけでなく、皆で観察する場所があっても良い。
- 調査結果を提言やアピールにつなげられると良い。

●相模原市立博物館 秋山幸也氏から

- 平成16年度と平成21年度では、調査結果に大分、差があると感じた。

5年を置いて比較しているので、種ごとの状況の違いに、どのような要因が関わっているのか、気になった方が多いようです。生物と環境変化との関係を調べるのは容易ではありませんが、今後、取り組むべき課題といえるでしょう。また、草刈の影響に注目している方が多いようです。自然環境の調査の宿命とも言える問題で、解決するのは難しいのですが、なるべくその時期を避けたり、データの取り方に工夫は必要かもしれません。また、印象として「空き地が減少した」と感じている方が多かったようです。これについては「管理が行き届いた場所には対象種はあまりない」つまり、あまり管理されていない場所に植物が生えるという印象がともなっています。この事は、何が「良い」のか考える上で様々な問題提起につながる事項だと思えます。

畑や空き地が宅地になったという印象もありました。実際に平成12年から平成17年にかけて、畑地から宅地になったという変化は起きています。外来種は単なる侵略者なのか、既に生態系の一員となっていると認めるのか。あるいは単純に庭先や道端に花が咲いていることが「いけない」事なのか、いろいろ考え方があります。種ごとに事情は違うと思えますし、ひとつの結論が出るものでもないと思えますが、調査をしながら意見を出し合ってみるのも面白いかもしれません。全部分担制にするのではなく、皆で見る場所をつくっておけば、個人のスキルアップにもなり、単独で調査する不安も解消できるのではないかという意見もありました。また、調査結果を何かにつなげたいというご意見もありました。これについては皆さん様々な考え方で関わっていらっしゃると思いますが、データの活用として市民サイドから発言していくことは、あっても良いのではないかと思います。どうまとめるのかはなかなか難しいのですが、将来的にはこういう事も考えてみてよいのではないのでしょうか。



2 自主テーマ調査

自然環境には地域差があり、局地的に生息・生育する種などは市内全域を対象とした調査に適さないものも多く、また、観察員の興味・関心や経験などにも個人差が見られます。

さらに、「全体テーマ調査」だけでは、市内の自然環境を評価するには不十分であるため、自主テーマによる調査を導入することにより、より多くのデータを集積することを目的としています。

テーマの選択・実施方法・調査時期は、観察員自身が設定して調査をしました。

(1) 自主テーマ調査の紹介

9件の自主テーマ調査の調査結果の提出がありました。

表2-1 自主テーマ調査一覧

No	報告者 (五十音順)	調査テーマと内容	分類
1	青野 久子	【オオブタクサ】(10月8日台風あけ) 相模線の線路の中にオオブタクサが群生していた。 (南橋本の小山小学校~小山中学校付近の観察)	植物
2	池川 源基	【オラリオン・サイトのイワツバメの巣】 橋本のマンション施設に営巣するイワツバメの観察記録。	鳥類
3	小川 路人	【フクロウの生息】(通年) お年寄りに対する聞き取りでは、20~30年以上前には、津久井地域にフクロウが多数生息していたようだ。益鳥として親しまれていたようだが、減少している。繁殖のための老木の巣穴がないためと思われる。 そのため、3年前からフクロウ用巣箱を取り付けている。各地で成果を上げているやり方だが、未だ成果はない。最近も鳴き声を聞いた。巣箱を増やし、挑戦を続ける。	鳥類
4	小野 きく	【第2回境川の水質調査会報告】(1月9日) 調査場所：境川の鶴金橋上 テスト方法：パックテスト5項目 日時：平成22年1月9日(土)午前10時 天候：晴れ	水質
5	小野 きく	【うばゆり】(通年) 普通のユリは根から芽が出て成長するが、うばゆりは昨年の根からは出ず、新しい場所に出る。花は4月位で終わる。	植物
6	小林 義博	【望地キャンプ場付近のホタル調査】(5月~7月) 4か所における定点観察。気温とホタルの数の記録。	昆虫
7	田口 常利	【セミについて】(8月31日) 今年はセミの鳴き声、あまり聞かないが、ぬけがらは落ちている。 【タンポポについて】(9月9日) タンポポは西洋タンポポ。ほとんど帰化植物。	植物 と 昆虫

No	報告者 (五十音順)	調査テーマと内容	分類
8	野口 幸夫	<p>【農家の柿】(秋)</p> <p>特に調査したわけではありませんが、私は近場の農家に週一度援農に行っていますが、農家の柿の色づきが昨年、一昨年より2～3週間早く感じます。柿の大きさも一回りちかく小さいように思いますが、中にはゴマが十分に入っております。又、農家に限らず近辺の柿の葉の落葉が多く、枝に葉がない状態の木もあります。少々異常か、これからこの状態が続くのか気にかかります。これも環境の変化なのでしょう。</p>	植物
9	早戸 正広	<p>【上鶴間周辺のチョウの調査】(4月7日～9月26日)</p> <p>自宅のある上鶴間周辺のチョウについて、無理のない程度に記録に残している。普段は市外で働いているため、移動時等の目撃記録が主なもの。したがって記録数は多いとはいえない。本年度は、携帯電話のカメラ機能を利用した写真撮影にも挑戦した。</p>	昆虫

報告1 オラリオン・サイトのイワツバメの巣 (No.2池川源基さん)

場所：相模原市西橋本 5-2-14 オラリオンサイト4番館前

平成 21 年 9 月 27 日
追記 平成 22 年 1 月 14 日
池川源基

時期	事象
平成 16 年 3 月	人が入居開始
平成 17 年春	イワツバメが 2 つの巣を作って入居
平成 18 年	巣の数は 31 個
平成 20 年	巣の数は 50 個以上
平成 21 年 2 月	歩道に糞をまき散らすので歩道の上の巣を除去し、ネットを張って巣を作れなくした。
平成 21 年	巣の数は 44 個

	<p>①東側から見上げたイワツバメの居住区。</p>
	<p>②西側：22 個 (平成 21 年 9 月) 架橋の梁とコルゲート構造の床の空間に 1 つずつびっしりと巣を作っている。</p>
	<p>③東側：22 個 このうち一つがヒメアマツバメの巣と見られる。(写真⑥参照)</p>
	<p>④上記の巣の様子 (拡大したもの) 9 月になったら一斉にどこかに行ってしまう空き巣になった。</p>



⑤イワツバメの子育て。子供3羽で巣の出入り口を広くしている。
子どもは2羽か3羽が多い。



⑥ 写真③のイワツバメの巣の後にできた、ヒメアマツバメの巣と見られる。(平成21年9月中旬に変化に気がついたもの)

追記：平成22年1月8日巣の中から尻尾が出て動くのを、また13日現在もこの巣の下に新しい糞が落とされていることを確認、その後の様子を観察中。



⑦オラリオン・サイト正面玄関車出入口の上に作られたヒメアマツバメの巣(と見られる)。(平成19年8月8日写す)

追記：平成21年10月15日この巣の下を数回飛び抜ける2羽のヒメアマツバメを確認。すぐ近くの仲間と合流9羽となって飛び去った。平成22年1月3日新しい糞を確認。



⑧平成 21 年 2 月に歩道の上の巣を除去し、ネットを張って巣を作れなくした為か、あぶれたイワツバメが新しい場所を求めて巣作りの準備を始めた。



⑨平成 21 年新居を作り、子供たちも巣立って行った後の空き巣。

報告2 第2回境川の水質調査会報告 (No.4小野きくさん)

調査場所：境川の鶴金橋上

日時：平成22年1月9日(土)午前10時

天候：晴れ

測定項目・方法：パックテストによる5項目(COD、NO₂、NH₄、NO₃、PO₄)

参加者：高久豊・伊藤政徳・高久雪絵・杉本三千代・芦田敦子・小野きく

境川のウォーキングロードのゴミはほとんどなかった。歩く人のマナーが良くなったのか、川の中の木に引っ掛かって、ちらちらしているゴミの多さに比べると断然少ないので逆にそれが気になる。前回(平成21年10月10日)の前日は雨だった。今回は晴天が続いていたためか川の水が少し淀んでいた。今回の調査結果が前回よりも悪かったのは、そのためかもしれない。

	COD (mg/L)	NO ₂ (mg/L)	NH ₄ (mg/L)	NO ₃ (mg/L)	PO ₄ (mg/L)
前回(平成21年10月10日)	8以上	0.01	0.5	0.2	0.05
今回(平成22年1月9日)	8	0.05	0.2	10	0.1

報告3 望地キャンプ場付近のホテル調査 (No.6小林義博さん)

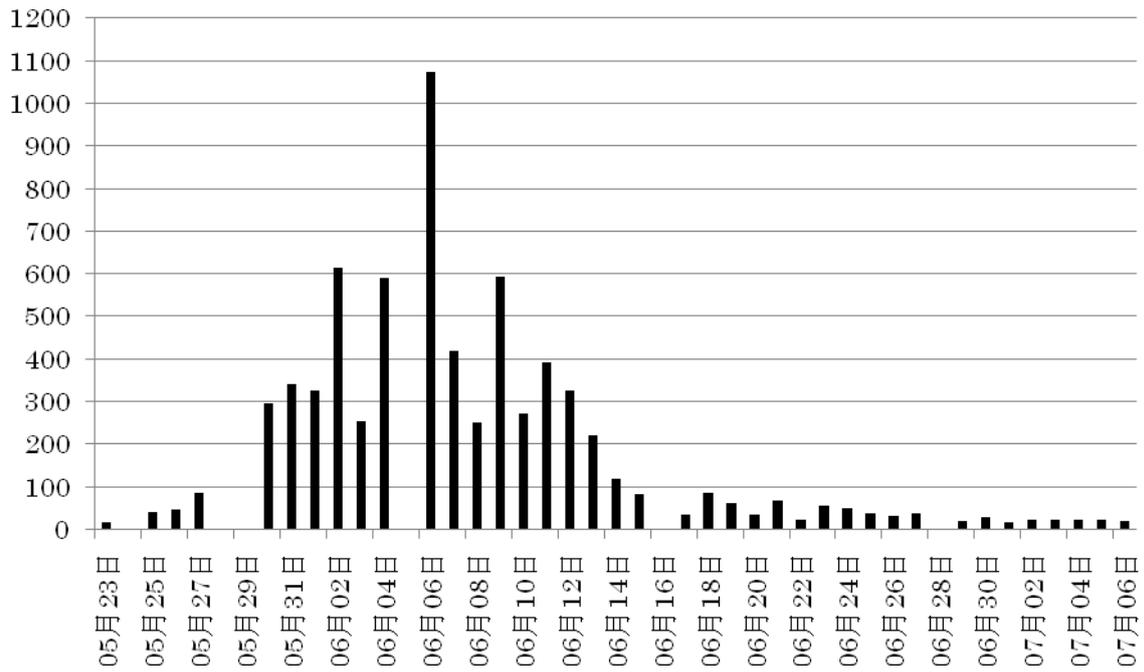


図2-1 望地キャンプ場でのホテルの確認数 (小林さんの自主調査の一部)

報告4 上鶴間周辺のチョウの調査 (No.9早戸正広さん)

2009調査							
日付	時刻	種名	科番	個体数	性別	目撃地	備考
6月26日	8時30分	アオシアゲハ	1	1	?	上鶴間4-3	
8月15日	15時00分	アオシアゲハ	1	1	?	深堀中央公園	
5月10日	12時00分	アゲハチョウ	1	1	?	上鶴間4-11	
6月20日	13時00分	アゲハチョウ	1	2	?	ルネ公園	
7月16日	8時00分	アゲハチョウ	1	1	?	上鶴間2-13	
8月22日	9時00分	アゲハチョウ	1	1	?	上鶴間2-14	
4月29日	10時00分	クロアゲハ	1	1	?	深堀中央公園	
5月9日	8時00分	クロアゲハ	1	1	?	上鶴間3-11	
6月14日	10時00分	クロアゲハ	1	1	?	深堀中央公園	
8月22日	15時20分	クロアゲハ	1	1	?	ルネ公園	
9月1日	7時15分	クロアゲハ	1	1	?	上鶴間3-11	
8月23日	15時20分	ナカサキアゲハ	1	1	♀	上鶴間2-13	
9月19日	12時00分	ナカサキアゲハ	1	1	♀	上鶴間2-13	死体
4月7日	12時30分	キチョウ	2	1	?	上鶴間6-10	
5月30日	14時10分	キチョウ	2	1	?	上鶴間5-15	
6月28日	10時00分	キチョウ	2	1	?	くぬぎ台小学校	
7月16日	8時05分	キチョウ	2	1	?	上鶴間5-17	
8月13日	8時05分	キチョウ	2	1	?	上鶴間4-27	
8月19日	7時55分	キチョウ	2	1	?	上鶴間2-13	
5月30日	14時20分	モンシロチョウ	2	1	?	くぬぎ台小学校	
5月31日	10時00分	モンシロチョウ	2	2	?	上鶴間2-14	
7月10日	8時05分	アサキマダラ	3	1	?	上鶴間4-27	
8月22日	15時10分	サトキマダラヒカゲ	4	1	?	ルネ公園	
8月23日	12時40分	サトキマダラヒカゲ	4	1	?	東林間さくら公園	
9月26日	7時55分	ヒカゲチョウ	4	1	?	上鶴間小学校	
5月10日	14時55分	ヤマシジミ	5	1	?	相模大野7-17	
8月16日	9時00分	ゴマダラチョウ	7	1	?	上鶴間4-25	
9月6日	10時05分	ゴマダラチョウ	7	1	?	上鶴間2-14	
5月17日	13時40分	ツマクロヒョウモン	7	1	?	深堀公園	
8月22日	12時20分	ツマクロヒョウモン	7	1	♀	上鶴間6-30	
6月20日	17時35分	ルリタテハ	7	1	?	林間幼稚園	
9月27日	17時30分	ルリタテハ	7	1	?	上鶴間4-27	
8月12日	18時00分	イチモンジセセリ	8	1	?	東林間とうきゅう店内	
8月23日	9時20分	イチモンジセセリ	8	1	?	上鶴間5-5	
8月26日	7時10分	イチモンジセセリ	8	1	?	上鶴間2-13	
9月14日	7時15分	イチモンジセセリ	8	1	?	上鶴間2-14	写真

アゲハチョウ科	1
シロチョウ科	2
マダラチョウ科	3
ジャノチョウ科	4
シジミチョウ科	5
ウラキシジミ科	6
タテハチョウ科	7
セセリチョウ科	8
テングチョウ科	9

※今年度は、7科14種を確認した。
 ※昨年度より2種少ない確認であった。
 ※携帯電話の写真機能を使用して、一部撮影することができた。(別添:イチモンジセセリ)
 ※ナカサキアゲハやツマクロヒョウモンなどの南方系の種が確認できた。
 ※ナカサキアゲハ♀は、死体であったため、白斑が少ないという、九州本島以北産の特徴を備えていることが確認できた。



イチモンジセセリ (平成21年9月26日)
上鶴間 (道路の側線上)



ウラナシジミ (平成21年9月28日)
光明学園付近、相模川河原 (クズの葉上)

3 任意参加調査

動植物の分布状況には地域差があります。全体テーマ調査はそういう動植物の分布状況の差異で市内全域の自然環境の状況を明らかにするものですが、局地的に生息・生育する動植物は市内全域を対象とした調査に適していません。

そこで、生息・生育範囲が狭く、市内のどの場所に生息・生育しているかを明らかにしたい動植物を対象に、目撃情報等の収集を行うことにより市内での分布状況のデータを集積することを目的として、平成15年度から任意参加調査を実施しています。

(1) アメリカオニアザミの分布調査

調査期間：7月30日～10月20日

調査方法：アメリカオニアザミを、自分の担当メッシュ以外で発見した場合に、「任意調査記録票」に記録しました。

調査参加者：青野久子、市川ケサノ、岡野博、小田勇、小野さく、貝瀬信、川崎香代、木村知之、澤口範子、塩沢徳夫、高崎孝子、高橋柳子、田口常利、田畑房枝、中島朋来、西田和子、山岡文彦、横木初美

調査結果：全体テーマ調査の結果と合せて集計し、「1 全体テーマ調査」に示しました。

(2) オナモミの地方名調査

調査方法：オナモミの地方名（方言名、別名）で、使ったことがある名前、知っている名前と、それが使われている地方（都道府県など）を「任意調査記録票」に記入しました。

調査参加者：青木喬、池川源基、小田勇、貝瀬信、小林千代、塩沢徳夫、杉原武男、田口常利、早戸正広、宮崎精励

調査結果：表3-1のとおり。

表 3-1 オナモミの別名

オナモミの別名	使われている場所
くつつき虫	埼玉
ゲジゲジ	寒川町
バカ	熊本県（の中程） 新潟県南魚沼市
ひつつき虫	福島県浜通り地方 神奈川県
ヒツツキ・モツツキ	広島県東部地区（福山市）
ベベったかり	相模原市（津久井町鳥屋）
勲章	
60年前特に呼び名なし。	高知県西部

4 専門部会調査

自然環境調査には、専門的な知識が必要なものや、グループで行ったほうが効率的なものがあります。

また、「全体テーマ調査」は稀少種などの特定の地域のみには生息・生育するものの調査には不向きですので、興味・関心が共通していたり、同じような問題意識を持っている人がまとまって様々な活動をする中で、より専門的な活動が図れるよう専門部会を設置しています。

現在の専門部会の設置状況は以下のとおりです。

表4-1 専門部会の設置年度と登録者数

部会名	設置年度	今年度の登録者数
植物調査部会	H14年度	22名
湧水調査部会	H14年度	16名
河川生物相調査部会	H18年度	12名
野鳥調査部会	H18年度	22名

4.1 植物調査部会

(1) 設置目的

植物には限られた地域に生育しているものや同定が難しいものなどがあるため、全体テーマ調査だけで必要なデータを得ることは困難です。また、自然環境基礎調査で得られた稀少種のデータを活かし現況を確認することは、今後の保全策を検討する上で非常に重要です。

そのため、植物に関心を持つ観察員が協力し合い、相模原市の貴重な植物の調査を行うことを目的に植物調査部会を設置しました。

(2) 活動報告

ア 第1回植物調査部会

- (ア) 形式 会議
- (イ) 日時 5月18日(月) 午前10時10分～12時10分
- (ウ) 場所 相模原市立環境情報センター 活動室
- (エ) 参加者 合計11名
観察員 9名(青山、浅木、小田、小泉、田口、西田、早戸、藤井、宮崎)
事務局 2名(渡邊、尾中)
- (オ) 内容
 - ・意見交換
 - ・今年度の計画
 - ・当面の計画

イ 第2回植物調査部会

- (ア) 形式 観察会(田名望地耕作地周辺の植物観察)
- (イ) 日時 6月14日(日) 午前10時～12時30分
- (ウ) 場所 相模川沿い、田名望地水田耕作地周辺
- (エ) 参加者 合計12名
観察員 9名(浅原、青野、佐々木、岩田、鹿島、金鋼、西田、宮崎、吉岡)
事務局 3名(尾中、小田、小野)
- (オ) 内容 集合地点の高田橋から田名望地水田耕作地周辺を散策し異なった地形ごとに植生種の特徴やその生育環境を観察しました。

高田橋付近の植物・・・フタナ、マメグンバイナズナ、ヒメジョオン、ヘラオオバコ、シロツメクサ、アカツメクサ、シナダレスズメガヤ、オオキンケイギク、コマツヨイグサ
 崖沿いの植物・・・アカメガシワの花、ケンポナシの花、ムクノキの実と葉、クマノミズキの花、ムラサキシキブの雄花、カナウツギの花、ヨウシュヤマゴボウ、セイタカアワダチソウ、セキショウ
 土手の植物・・・(かなり草刈りが行われていた) オニグルミの実、クララの若い実、オカトラノオ、クズの葉、オオブタクサ、ブタクサ
 休耕田の植物・・・イヌゴマの群生、アメリカフウロ、コヒルガオ、ツユクサ、オオバコ、ナガミノヒナゲシ
 水路沿い・・・トキワツユクサの群生、アカメガシワの雄花

ウ 第3回植物調査部会

- (ア) 形式 活動(カワラノギクの保護・観察)
 (イ) 日時 6月25日(木) 午前10時～12時
 (ウ) 場所 相模川河川敷カワラノギク保護区域、実験区域(神沢地区)
 (エ) 参加者 合計13名
 市博物館他 5名(秋山学芸員、相模原植物調査会)
 観察員 7名
 事務局 1名(尾中)
 (オ) 内容 草抜きする区画、しない区画など違う環境のものでの成育過程を観察するための草抜き作業を行いました。

エ 第4回植物調査部会

- (ア) 形式 観察会(田名望地耕作地周辺の植物観察)
 (イ) 日時 7月11日(土) 午前9時～12時30分
 (ウ) 場所 相模川沿い、田名望地水田耕作地周辺
 (エ) 参加者 合計3名
 (オ) 内容 相模川沿いと田名望地水田耕作地周辺の植物を観察しました。

オ 第5回植物調査部会

- (ア) 形式 植物調査のための観察会
 (イ) 日時 10月17日(日) 午前9時30分～午後3時30分
 (ウ) 場所 県立津久井湖城山公園
 (エ) 参加者 合計8名
 観察員他 5名(青野、大用、鹿島、金銅、宮崎)
 事務局 3名(西田、斉藤、小田)
 (オ) 内容 ブタナ、ヘラオオバコ、セイヨウタンポポ、イイギリ、カノツメソウの実、カシワバハグマの花、ミツバウツギの実、キジョランの実などを観察しました。また、調査票のサンプルや実際の調査報告書、調査中などのメモを見て、植物調査の勉強をしました。

カ 第6回植物調査部会

- (ア) 形式 活動(カワラノギクの保護・観察)
 (イ) 日時 10月27日(火) 午前10時～12時30分
 (ウ) 場所 相模川河川敷カワラノギク保護区域、実験区域(神沢地区)



(工) 内 容 6月に草ぬきをしたところとしないところとの生育状況の差などを観察しました。

4. 2 湧水調査部会

(1) 設置目的

相模川をはじめとする河川と段丘崖に点在する湧水は、相模原市の代表的な自然環境といえます。河川や湧水の水質・水量を維持し、生態系の保全を図りながら、将来世代に豊かな水辺を引き継ぐことは我々の責務です。

そのため、相模原市環境基本計画においては、湧水保全対策として、重点施策に「自然環境観察員と連携して、湧水の監視を行います。」という取り組みを掲げました。この取り組みを推し進め、湧水の継続的な調査を実施することを目的に湧水調査部会を設置しました。

(2) 調査概要

平成14年度から平成17年度まで行ってきた一次調査の結果を踏まえ、平成19年度から平成23年度までの5年間を二次調査期間として、これまで調査した30箇所のうち、湧水が全く確認できない1箇所を除外した29箇所について経年変化を調査し、記録します。今年度は二次調査の3年目として、当麻相愛病院脇水路、当麻山公園内、市農協緑化センター裏、田名塩田ホーム脇水路、東急建工下の5箇所の調査を行いました。

(3) 調査方法

調査方法については、調査結果の比較が容易にできるように自然環境基礎調査の調査方法にできる限り近づけています。主な変更点としては、自然環境基礎調査で行ったBODの調査は市民参加での調査には適さないことから、CODによる調査に変えています。



表4-2 湧水調査方法の概要

項目	概要	
	湧水調査部会調査 (平成14年度～)	自然環境基礎調査 (平成10年度)
1 調査時期	豊水期(9月下旬)と湧水期(1月下旬)の年2回	
2 調査箇所	29箇所を5年で実施 (第2次調査)	30箇所を1年で実施
3 水質調査	(1) 水質調査項目 ①水温 ②溶存酸素量(DO) ③水素イオン濃度(pH) ④電気伝導率(EC) ⑤化学的酸素要求量(COD) ⑥湧水量	(1) 水質調査項目 ①水温 ②溶存酸素量(DO) ③水素イオン濃度(pH) ④電気伝導率(EC) ⑤生物化学的酸素要求量(BOD) ⑥湧水量
4 植物調査	(1) 時期 豊水期調査及び湧水期調査と同期日 (2) 方法 湧水周辺の植物について、成育種の確認、群落の大きさ、生育状況などを記録	(1) 時期 夏期植生調査時に実施 (2) 方法 湧水周辺の植物について、成育種の確認、群落の大きさ、生育状況などを記録
5 水生生物調査	(1) 時期 豊水期調査及び湧水期調査と同期日 (2) 方法 湧水地及びこれに続く水路、湿性地を対象として、水生動物の確認(定量時間20分程度の任意採集)	(1) 時期 豊水期調査と同期日 (2) 方法 湧水地及びこれに続く水路、湿性地を対象として、水生動物の確認(サーバーネット及びタモ網を用い定量時間30分の任意採集)

(4) 活動報告

ア 第1回湧水調査部会

(ア) 形式 会議

(イ) 日時 7月23日(木) 午前9時30分～11時30分

(ウ) 場所 相模原市立環境情報センター 学習室

(エ) 参加者 合計11名

観察員 9名(岡野、貝瀬、小川、青野、池川、井口、川崎、鹿内、小田)

事務局 2名(尾中、原田)

(オ) 内容

- ・調査部会の位置づけ
- ・本年の湧水調査について
- ・湧水部会の今後の活動について意見交換

イ 第1回湧水調査

(ア) 形式 調査(豊水期)

(イ) 日時 9月27日(日) 午前9時～午後3時30分

(ウ) 場所 当麻相愛病院脇水路、当麻山公園内、市農協緑化センター裏、田名塩田ホー

- △脇水路、東急建工下（全5箇所）
- (工) 参加者 合計13名
 観察員 11名（青野、井口、岡野、貝瀬、川崎、小林（義）、鹿内、仙田、武田、西田、宮崎）
 事務局 2名（尾中、小田）
- (オ) 内容 水質調査班、植物調査班、水生生物調査班の3班に分かれて調査を行いました。鬱蒼と茂った谷間や、過去に湧水を利用した生活用具の残りがあつた湧水地など水源地の豊かさを知る反面、ごみ捨て場と化した空間もあり、環境保全の観点から問題を感じる調査でした。緑化センター裏では、スズメバチの大群が水面を飛び交う場面と遭遇しましたが、静かに行動することで難を免れました。



ウ 第2回湧水調査

- (ア) 形式 調査（湧水期）
- (イ) 日時 1月24日（日）午前9時～午後3時30分
- (ウ) 場所 当麻相愛病院脇水路、当麻山公園内、市農協緑化センター裏、田名塩田ホーム脇水路、東急建工下（全5箇所）
- (工) 参加者 合計10名
 観察員8名（青野、井口、岡野、川崎、川村、小林（義）金銅、仙田）
 事務局2名（尾中、小田）
- (オ) 内容 9月と同様、水質・植物・水生生物調査班の3班に分かれて調査を行いました。総評の変化は横ばいです。湧水量では緑化センター裏において豊水期・湧水期とも減少傾向にあるのが目立ちます。

エ 調査結果—地点評価—

表4-3 湧水調査部会調査結果（平成21年度）

No	名称	湧水量	水質	植生環境	水生動物相	管理	総評	前年からの変化
14	相愛病院脇水路	B	A	B	B	B	△	変化なし
15	当麻山公園内	C	A	A	C	A	△	変化なし
16	市農協緑化センター裏	C	B	A	B	C	△	変化なし
17	田名塩田ホーム脇水路	B	A	A	B	B	○	変化なし
18	東急建工下	A	A	A	A	A	◎	変化なし

（評価基準）

湧水量	A：湧水量が豊富 B：湧水量がやや豊富 C：染み出す程度 D：水涸れする時期がある
水質	A：各項目とも良好 B：普通 C：生活排水が混入している
植生環境	A：良好な樹林環境がある B：樹林がある C：樹林がない
水生動物相	A：水生動物相が豊富 B：普通 C：水生動物相が貧相
管理	A：湧水が管理されている B：とくに管理はされていない C：管理されておらず、ゴミが散在している
総評	◎：湧水量及び水質並びに周辺環境が良好 ○：湧水量及び水質並びに周辺環境がやや良好 △：湧水量及び水質並びに周辺環境が貧弱 ×：湧水が水涸れし、湧水地機能がなし

4. 3 河川生物相調査部会

(1) 設置目的

相模川をはじめとする河川には様々な生き物が生息しています。とくに河川に見られる底生生物を指標とする河川生物相は、種類、個体数などから、水の汚れ具合を見分けることができます。また、継続的にデータを収集し現況を確認することは、今後の保全策を検討する上で非常に重要です。

そのため、河川の生き物に関心を持つ観察員が協力し合い、市内を流れる河川の生物相調査を行うことを目的に河川生物相調査部会を設置しました。

(2) 活動報告

ア 河川生物相調査部会

(ア) 形式 勉強会・観察会（相模川の水生生物についての講義と調査）

(イ) 日時 7月11日（土）午前9時30分～正午

(ウ) 場所 相模川大島キャンプ場親水池下流水路

(エ) 参加者 合計11名

観察員7名（青野、荒谷、仙田、田畑、新倉、益子、松元）

指導員2名（小林（義）、木村（光））

事務局2名（小田、尾中）

(オ) 内容 オリエンテーションの後、パックテストによるCOD、水流の流速、水温等を測定し、水中や石の下の生き物を探しました。チチブやヨシノボリなどの魚類4種、エルモンヒラタカゲロウなどのカゲロウの仲間2種、ヒゲナガカワトビケラなどのトビケラの仲間4種、ハグロトンボの幼虫などのトンボの仲間6種、その他カワニナ、スジエビ、モノアラガイなど8種を採取し、観察しました。また、ダム建設の歴史や水質と生息種との関連なども学習しました。



4. 4 野鳥調査部会

(1) 設置目的

鳥類の生息状況を把握するには、季節的な変動を考慮して年間を通じた調査を行うことが必要であるため、全体テーマ調査だけで必要なデータを得ることは困難です。また、相模原市自然環境基礎調査で得られたデータを活かし現況を確認することは、今後の保全策を検討する上で非常に重要です。

そのため、野鳥に関心を持つ観察員が協力し合い、現地調査による記録種をもとに、相模原市の鳥類相の把握や鳥類相から見た緑地・水辺の現況の把握を目的に野鳥の調査を行うため、野鳥調査部会を設置しました。

(2) 調査概要

自然環境基礎調査の野鳥調査において設定した市内14ルート、13地点を対象に、今年度から2班体制で追跡調査を行い記録します。また、野鳥調査部会員が、個人または個人が属する団体等で行う活動で得た情報を活用し補完します。

今年度は、田名バーディゴルフ場下付近の八瀬川水系沿い、田名望地弁天キャンプ場付近の相模川沿いの2ルート1定点および境川水系沿いの坂本橋～平成橋、古淵鹿嶋神社の1ルート1定点を調査しました。

(3) 調査方法

調査方法については、調査結果の比較が容易にできるように自然環境基礎調査の調査方法にできる限り近づけることとしました。主な変更点として、姿の確認がない場合であっても鳴き声を2人以上が確認したときは種類のみを記録するようにしました。



表4-4 野鳥調査方法の概要

項目	概要	
	野鳥調査部会 (平成18年度～)	自然環境基礎調査 (平成11年度)
1 調査時期	春季調査(渡り期)-5月中旬- 夏季調査(繁殖期)-6月後半- 秋季調査(渡り期)-10月後半- 冬季調査(越冬期)-2月上旬-	春季調査(渡り期)-5月中旬- 夏季調査(繁殖期)-6月後半- 補足調査(繁殖期)-8月- 秋季調査(渡り期)-10月後半- 冬季調査(越冬期)-2月上旬-
2 調査箇所	14+Nルート・13+N地点を複数年かけて調査	14ルート・13地点を1年で調査
3 調査方法	[線センサス調査法]	
	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ設定したルート上を、時速1.5km～2kmで歩行し、調査ルートの片側50m(両側100m)幅の範囲内に出現した鳥類の種類、個体数等を記録する。 姿の確認がない場合であっても鳴き声を2人以上が確認したときは種類のみを記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ設定したルート上を、時速1.5km～2kmで歩行し、調査ルートの片側50m(両側100m)幅の範囲内に出現した鳥類の種類、個体数等を記録する。
3 調査方法	[定点観察法]	
	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ設定した調査地点において、範囲は定めずに1地点30分間の観察を行い、出現した鳥類の種類、個体数等を記録する。 姿の確認がない場合であっても鳴き声を2人以上が確認したときは種類のみを記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ設定した調査地点において、範囲は定めずに1地点30分間の観察を行い、出現した鳥類の種類、個体数等を記録する。
	[任意観察]	
	<ul style="list-style-type: none"> 野鳥調査部会員が個人又は個人が属する団体において活動して得た情報を活用し補完する。 	<ul style="list-style-type: none"> 上記の手法以外に、調査地域内を任意に調査し、鳥類相の把握を行う。

2) 活動報告

ア 第1回野鳥調査部会

(ア) 形式 調査(春季)

(イ) 日時 5月9日(土) 午前9時～午後1時

(ウ) 場所 A班

○ 八瀬川沿い(ルート調査) 田名バー
ディゴルフ場下～塩田さくら橋

○ 相模川沿い(ルート調査) リバーサイド田名ホーム下～土手沿い・望
地弁天キャンプ場

○ 望地耕作地脇土手沿い最南端(定点調査)

B班

○ 境川沿い(ルート調査) 京王線と交差する坂本橋～平成橋(宮下本町
2丁目)

○ 古淵鹿嶋神社境内(定点調査)

(エ) 参加者

合計15名

A班 計7名

観察員5名(荻原、塩沢、福田、吉岡(歌)、吉岡(孝))

リーダー1名(内田)

事務局1名(尾中)

B班 計8名

観察員5名(池川、小川、澤口、中島、柳下)

リーダー1名(後藤)

事務局2名(小田、小野)

(オ) 内容

2班に分かれて線センサス調査及び定点観察を行いました。(以下、同)



イ 第2回野鳥調査部会

(ア) 形式 調査(夏季)

(イ) 日時 6月13日(土) 午前9時～午後1時

(ウ) 場所 第1回調査と同じ

(エ) 参加者

合計17名

A班 計10名

観察員8名(浅原(米)、荻原、川崎、塩沢、福田、吉岡(歌)、吉岡(孝)、
新倉)

リーダー1名(内田)

事務局1名(尾中)

B班 計7名

観察員4名(青木、池川、中島、柳下)

リーダー1名(後藤)

事務局2名(小田、小野)

(オ) 内容

第1回調査と同じ。



ウ 第3回野鳥調査部会

(ア) 形式 調査(秋季)

(イ) 日時 10月24日(土) 午前9時～午後1時

(ウ) 場所 第1回調査と同じ

(エ) 参加者

合計15名

A班 計8名

観察員 7名 (浅原 (靖) 浅原 (米)
川崎、塩沢、福田、吉岡 (歌)、吉岡 (孝))
事務局 1名 (尾中)

B班 計7名
観察員4名 (池川、澤口、中島、柳下)
リーダー1名 (後藤)
事務局2名 (小田、小野)

(才) 内 容 第1回調査と同じ

工 第4回野鳥調査部会

(ア) 形 式 調査 (冬季)
(イ) 日 時 2月6日 (土) 午前9時~午後1時
(ウ) 場 所 第1回調査と同じ
(エ) 参加者 合計12名

A班 計6名
観察員4名 (塩沢、福田、吉岡 (歌)、吉岡 (孝))
リーダー1名 (内田)
事務局 1名 (尾中)

B班 計6名
観察員4名 (小川、柳下、田畑、星野)
リーダー1名 (後藤)
事務局1名 (小田)

(才) 内 容 第1回調査と同じ



オ 調査結果

表4-5 野鳥調査部会調査結果 八瀬川沿い・田名パーティゴルフ場付近（ルート調査）

目	分類		確認数					
	科	種	春季	夏季	秋季	冬季	合計	
ペリカン	ウ	カワウ	1	5			6	
コウノトリ	サギ	アオサギ			1	1	2	
カモ	カモ	カルガモ	2	2	3		7	
タカ	タカ	トビ				1	1	
キジ	キジ	キジ	1		1		2	
チドリ	シギ	イソシギ		1			1	
ハト	ハト	キジバト	2	1	4	5	12	
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ		1	1		2	
キツツキ	キツツキ	コゲラ	2	1			3	
スズメ	ツバメ	ツバメ	11	16			27	
		セキレイ	キセキレイ	2	5	2		9
			ハクセキレイ	2	4	7	2	15
			セグロセキレイ	1			1	2
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	6	3	8	42	59	
	モズ	モズ		1	3	5	9	
	ツグミ	ルリビタキ					1	1
		ジョウビタキ			2	1	3	
		アカハラ				1	1	
		シロハラ				4	4	
		ツグミ				7	7	
	ヒタキ	キビタキ	1				1	
	エナガ	エナガ	10				10	
	シジュウカラ	シジュウカラ	4		1	1	6	
	メジロ	メジロ		1			1	
	ホオジロ	ホオジロ				2	2	
		アオジ				3	3	
	アトリ	カワラヒワ	5	3	6	72	86	
	ハタオリドリ	スズメ	7	14	31	48	100	
	ムクドリ	ムクドリ	13	3		12	28	
カラス	ハシボソガラス	1	2	2	3	8		
	ハシブトガラス	2	3	3	1	9		
外来種								
ハト	ハト	ドバト	2				2	
合計 10目 23科		種数	19	17	15	20	32	
		個体数	75	66	75	213	429	

表4-6 野鳥調査部会調査結果 田名望地弁天キャンプ場付近（ルート調査）

分類			確認数				
目	科	種	春季	夏季	秋季	冬季	合計
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ				2	2
ペリカン	ウ	カワウ	2		2	1	5
コウノトリ	サギ	ダイサギ	1		3		4
		コサギ	1				1
		アオサギ		1	2		3
カモ	カモ	カルガモ	7	8	2		17
		コガモ	4		6	130	140
タカ	タカ	ミサゴ			1		1
		トビ	5	6	5	3	19
		ノスリ				3	3
	ハヤブサ	チョウゲンボウ			1		1
チドリ	チドリ	イカルチドリ	1			22	23
	シギ	キアシシギ	6				6
		イソシギ	1	1			2
ハト	ハト	キジバト	1			2	3
アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ				21	21
キツツキ	キツツキ	コゲラ				1	1
スズメ	ヒバリ	ヒバリ	4	11			15
	ツバメ	ツバメ	6				6
		イワツバメ				1	1
	セキレイ	ハクセキレイ		5	4	2	11
		セグロセキレイ	1	2		2	5
		タヒバリ				1	1
	ヒヨドリ	ヒヨドリ		2	3	1	6
	モズ	モズ			2	2	4
	ツグミ	シロハラ				1	1
		ツグミ				2	2
	ウグイス	セッカ	3	5			8
	シジュウカラ	シジュウカラ	1	1		4	6
	メジロ	メジロ				4	4
	ホオジロ	ホオジロ	3	2	1	14	20
	アトリ	カワラヒワ	7	2	4	28	41
	ハタオリドリ	スズメ	1	6	51	60	118
	ムクドリ	ムクドリ	7	3		9	19
	カラス	ハシボソガラス			1	3	4
		ハシブトガラス		1		21	22
カラス（種別不明）			1			1	
外来種							
スズメ	チメドリ	ガビチョウ			1		1
合計 10目 26科		種数	19	15	16	25	37
		個体数	62	57	89	340	548

注) カラス（種別不明）はハシボソガラスまたはハシブトガラスの可能性があるので、種数には含めていない。

表4-7 野鳥調査部会調査結果 田名望地最南端部（定点調査）

分類			確認数				
目	科	種	春季	夏季	秋季	冬季	合計
ペリカン	ウ	カワウ	3	2			5
コウノトリ	サギ	ダイサギ	1		2		3
		コサギ			1		1
		アオサギ	1		3	1	5
カモ	カモ	カルガモ	2	3			5
タカ	タカ	トビ	3	2		1	6
		ノスリ				1	1
チドリ	チドリ	イカルチドリ		1			1
	シギ	イソシギ			1		1
ハト	ハト	キジバト	1		1	1	3
アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ		2		1	3
スズメ	ツバメ	ツバメ	4	3			7
		イワツバメ				50	50
	セキレイ	キセキレイ		1	1	2	4
		ハクセキレイ	2			2	4
		セグロセキレイ	1		2	1	4
		タヒバリ				1	1
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	1		1		2
	モズ	モズ			1		1
	ヒタキ	ツグミ				1	1
	ウグイス	セッカ	1	1			2
	シジュウカラ	シジュウカラ	1				1
	メジロ	メジロ		1			1
	ホオジロ	ホオジロ	1	1	1	9	12
	アトリ	カワラヒワ	4			3	7
	ハタオリドリ	スズメ	2	5			7
	ムクドリ	ムクドリ	1				1
カラス	ハシブトガラス	2	1		5	8	
合計 8目21科		種数	17	12	10	14	28
		個体数	31	23	14	79	147

表4-8 野鳥調査部会調査結果 境川沿い（坂本橋～平成橋）ルート調査

分類			確認数					
目	科	種	春季	夏季	秋季	冬季	合計	
ペリカン	ウ	カワウ			1		1	
コウノトリ	サギ	コサギ			1	1	2	
カモ	カモ	カルガモ		6	5	2	13	
		コガモ				23	23	
タカ	タカ	トビ				2	2	
キジ	キジ	キジ				1	1	
ハト	ハト	キジバト		3		6	9	
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	1	2	1	1	5	
スズメ	ツバメ	ツバメ	9	10			19	
		イワツバメ	5	3			8	
	セキレイ	キセキレイ			1	2	3	
		ハクセキレイ	2	5	6	6	19	
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	4	5	32	45	
	ツグミ	ツグミ				5	5	
	シジュウカラ	シジュウカラ		1			1	
	メジロ	メジロ	4				4	
	ホオジロ	アオジ				3	3	
	アトリ	カワラヒワ	2	2	3	6	13	
	ハタオリドリ	スズメ	10	8	18	11	47	
	ムクドリ	ムクドリ	7	11	81	13	112	
	カラス	オナガ			2	8		10
		ハシボソガラス	1					1
		ハシブトガラス			1			1
合計 8目 18科		種数	10	12	12	15	23	
		個体数	45	57	131	114	347	

表4-9 野鳥調査部会調査結果 境川沿い・古淵鹿嶋神社境内（定点調査）

分類			確認数					
目	科	種	春季	夏季	秋季	冬季	合計	
ハト	ハト	キジバト	1	1	1		3	
キツツキ	キツツキ	アオゲラ	5				5	
スズメ	セキレイ	ハクセキレイ			1		1	
		セグロセキレイ	1				1	
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	5	4	4	2	15	
	ウグイス	ウグイス	1				1	
	シジュウカラ	シジュウカラ	3	3	1		7	
	メジロ	メジロ			1	2	3	
	アトリ	カワラヒワ			1		1	
		シメ				1	1	
	ムクドリ	ムクドリ		1			1	
	カラス	オナガ					2	2
		ハシボソガラス		2			1	3
カラス（種別不明）				2			2	
外来種								
キジ	キジ	コジュケイ	1	3			4	
ハト	ハト	ドバト	2				2	
合計 4目 11科		種数	9	7	5	5	15	
		個体数	21	15	8	8	52	

注) カラス（種別不明）はハシボソガラスの可能性があるので、合計の種数には含めていない。

第3章 かんきょう学習セミナー

1 第1回かんきょう学習セミナー

日 時 4月26日(日) 午前9時30分～正午
場 所 環境情報センター 学習室
参加者 40人

(1) 自然環境観察員制度について

本制度の目的や概要、今年度の運営方針などについて、事務局から説明を行いました。

(2) 全体テーマ調査について

今までの調査の概観について、事務局から説明を行いました。

(3) その他の調査について

専門部会調査、任意参加調査、自主テーマ調査、スケジュールについて、事務局から説明を行いました。

(4) これからについての話し合い

各専門部会と部会不参加の5つの班に分かれ、運営委員を決め、調査の進め方などについて話し合いました。

2 第2回かんきょう学習セミナー

日 時 9月6日(日) 午後2時～4時
場 所 環境情報センター 学習室
参加者 49人

(1) 講演「外来植物について」

講師 秋山幸也さん(市立博物館)

外来種の概念、問題点、経路、影響などについて解説していただき、今回の調査種についても解説していただきました。

(2) 調査方法について

相模原市環境対策課の木村さんに、全体調査の「外来植物の調査一手引き」に基き、調査内容、期間、手順、その他一般注意事項、任意調査の説明をしていただきました。

(3) その他

まとめの協働作業について話し合いました。

3 第3回かんきょう学習セミナー

日 時 3月13日(土) 午後1時～2時30分
場 所 環境情報センター 学習室
参加者 46人

(1) 自然環境観察員制度について

自然環境観察員制度と平成22年度の調査の計画について、事務局から説明しました。

(2) 平成21年度実施報告

全体テーマ調査結果について相模原市環境対策課の木村さんから説明していただいた後、各調査部会から活動内容や調査結果などについて、報告をしていただきました。

第4章 全体調査企画会議

1 第1回全体調査企画会議

日 時 7月10日(金) 午後1時～3時

場 所 環境情報センター 学習室

参加者 7人

(1) 全体テーマ調査について

調査種とその剪定理由について事務局から説明し、合意しました。

(2) 調査手引書について

調査手引書の案について事務局から説明し、意見交換しました。

(3) 全体テーマ調査の結果のとりまとめについて

結果のとりまとめ作業内容について事務局から説明し、意見交換しました。

(4) 第2回かんきょう学習セミナーについて

第2回かんきょう学習セミナーの開催日時とテーマ、講師について事務局から説明しました。

(5) 今後のスケジュールについて

全体テーマ調査の時期や第2回・第3回企画会議の日時について事務局から説明しました。

(6) 環境まつりの展示結果について

環境まつりの展示結果を環境情報センターのエコギャラリーに展示することについて、事務局から説明し、了解を得ました。

2 第2回全体調査企画会議

日 時 8月3日(月) 午後1時～3時

場 所 環境情報センター 活動室

参加者 5人

(1) 第2回かんきょう学習セミナーについて

第2回かんきょう学習セミナーの次第案、配布資料一覧を確認し、第1回身近な生きもの調査の手引きについて意見交換をしました。また、スケジュールについて確認しました。

(2) 企画会議について

企画会議の位置づけと役割について意見交換しました。

3 第3回全体調査企画会議

日 時 8月25日(火) 午後1時30分～5時

場 所 環境情報センター 活動室

参加者 6人

(1) 第2回かんきょう学習セミナーについて

第2回かんきょう学習セミナーの開催当日の資料を確認し、当日の進行と作業分担について確認しました。

(2) 専門部会について

湧水調査部会と野鳥調査部会の活動の進捗状況について確認しました。

4 第4回全体調査企画会議

日 時 10月29日(木) 午前10時～正午

場 所 環境情報センター 活動室

参加者 6人

(1) 全体テーマ調査結果の入力作業進捗状況等について

全体テーマ調査結果の入力状況を、事務局から説明を行い、意見交換をしました。

(2) 来年度について

来年度の予定について、事務局から説明を行いました。

5 第5回全体調査企画会議

日 時 2月9日(火) 午前10時～正午

場 所 環境情報センター 活動室

参加者 6人

(1) 来年度の調査対象種について

来年度全体テーマ調査の対象種(タンポポ類とジョロウグモ)について、事務局から説明を行いました。

(2) 来年度の任意調査について

来年度の任意調査について意見交換を行いました。

(3) タンポポ類調査の手引き案について

来年度の全体テーマ調査の対象種であるタンポポ類の手引き案について詳細に検討し、調査方法や現地研修会についても意見交換しました。

(4) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて事務局から説明を行いました。

(5) 第3回かんきょう学習セミナーについて

3月13日に開催される第3回かんきょう学習セミナーについて事務局から説明を行いました。

6 第6回全体調査企画会議

日 時 2月22日(月) 午前10時～正午

場 所 環境情報センター 活動室

参加者 4人

第3回環境学習セミナーの配布物や進行、役割分担、準備スケジュールについて話し合いました。

7 第7回全体調査企画会議

日 時 3月10日(水) 午前9時30分～正午

場 所 環境情報センター 活動室

参加者 4人

第3回かんきょう学習セミナーの準備を行いました。

今までの調査の概観について、事務局から説明を行いました。

第5章 その他の活動

- 本制度の調査結果を発表するため、「さがみはら環境まつり」へ出展し、運営にご協力いただきました。
- 環境情報センター事業協力者登録制度「エコネットの輪」の登録を延長しました。「相模原市の環境学習・環境活動プログラム集」へ「小・中学校の校庭にある樹木・園芸種の観察会」「身近な植物観察会」「草あそびー草笛や草虫・笹舟づくりー」の3プログラムを登録し、小・中学生を対象とした各種観察会や総合学習への支援などでの講師活動にご協力をいただきました。

観察員さんの活動は身近な生きもの調査以外においても、ますます大切な役割を担っていくことが期待されます。どうぞよろしくお願いいたします。

資料編

- 1 調査の手引き
- 2 自然観察かわらばん
- 3 ご意見・ご感想

平成21（2009）年度

相模原市自然環境観察員制度 身近な生き物調査

外来植物の調査

— 手 引 き —



相模原市立環境情報センター

目次

1.	はじめに・・・なぜ調査をするのか.....	1
2.	今回の調査の目的.....	1
3.	調査種と選定の理由.....	2
1)	必須調査（全員が必ず調査するもの）.....	2
2)	任意調査.....	2
4.	調査種の識別ポイント.....	3
1)	ブタクサ（キク科）.....	3
2)	オオブタクサ（キク科）.....	5
3)	オナモミ類（キク科）.....	7
4)	アメリカオニアザミ（キク科）.....	8
5.	調査方法.....	10
1)	調査内容.....	10
2)	調査期間.....	10
3)	調査の手順.....	10
4)	記録票提出期限.....	10
5)	提出方法.....	10
	調査票記入例.....	11
6.	「任意調査」について.....	12
7.	その他の一般的注意事項.....	14
8.	資料.....	15
9.	参考図書など.....	18

1. はじめに・・・なぜ調査をするのか

植物は、いろいろな方法で、種子を散布します。たまたま生育条件の合った場所にたどりついた種子は、そこで発芽し、成長して新しい分布地を広げていきます。

そこに生えている植物を調査することで、その土地が安定しているのか、または、新たな環境に変えられたのかなどが分かります。こうした調査を続けることで、相模原の環境の現状と変化が見えて来きます。

5年前に、外来植物のブタクサ類とオナモミ類の調査を行いました。今年度は、改めてこれらの植物の分布状況を調べ、その変化の様子を記録していきたいと思えます。

ブタクサの日本への渡来は明治の初め頃、昭和に入って急速に全国的に広がったようです。オオブタクサは、1952年に清水港で採取し開花させたものが最初の報告です。

今ではオオブタクサの勢いが増し、ブタクサの生育地は減っているような印象を受けますが、今後オオブタクサとブタクサの分布はどのようになってゆくのか、気になるところです。

2. 今回の調査の目的

今回の調査は、都市化の進行する相模原市において、外来植物がどのように分布しているかを記録すること、また、その経年変化について考察することを目的とします。

3. 調査種と選定の理由

調査種については、基本的に従来の5年ごとの計画を継承しています。

平成21年度の調査では、平成16年度に調査を行った外来植物と同じ種を含め4種類の外来植物について調査します。

1) 必須調査 (全員が必ず調査するもの)

なお、調査対象種を、以下の三つに区分して整理しました。

① 基本調査項目1

分布域が広く、多くの調査地での出現が想定されるもの

② 基本調査項目2

分布は偏るが、その変化や消長をとらえ易いもの

③ 新たに調査するもの

近年、分布が急激に変化するなど、広域的な分布状況を把握しておきたいもの

上記のような整理に従い、平成21年度の調査種は以下の表に示す通りとします。

表 平成21年度 全体調査種と選定理由

区分	類	種	理由
基本調査項目1	ブタクサ類	ブタクサ オオブタクサ	分布が広く、わかり易く、経年変化を捉えやすい
基本調査項目2	オナモミ類	オオオナモミ、 イガオナモミ、オナモミ	秋に実をつけるのでわかり易く、親しめる
新しい調査種		アメリカオニアザミ	最近、分布を拡大、今後は注目される

2) 任意調査

アメリカオニアザミ・・・担当メッシュ以外の場所で発見した場合を報告

○「帰化」「外来」種、という用語の定義

今回の調査にあたり、用語の使い方について話し合い、“当該地域の外から入ってきたものを「外来種」と呼ぶことになりつつある”との理解から、従来「帰化」を用いていたが、今回から「外来種」に統一することで整理しました。

4. 調査種の識別ポイント

1) ブタクサ (キク科)

- ・高さは 150 cm 程になり、全体に柔らかい毛が生え、枝分かれする
- ・葉は細かく切れ込み、柔らかい。 茎の下の方では対生、上の方では互生する。
- ・花は夏、茎の頂に穂をだして小さな地味な花が集まって咲く。
- ・畑地、空き地、牧草地、道端に生える。



← 上が雄花

← 下が雌花



ブタクサの姿

○花が咲いていないと間違えやすい植物

キバナコスモス



キバナコスモス

- ・花は黄色～オレンジ色の 5cm 程のコスモスのような花を、茎の頂につける
- ・葉は、毛が無く、対生

ヨモギ

- ・草丈は 50cm～120cm
- ・小さな花がたくさん付く
- ・葉は羽状に切れ込み、香りが強い

ヨモギの葉



ヨモギの花



ブタクサ と キバナコスモス
ヨモギ の葉 (35%) コピー



ブタクサ



キバナコスモス

全て対生



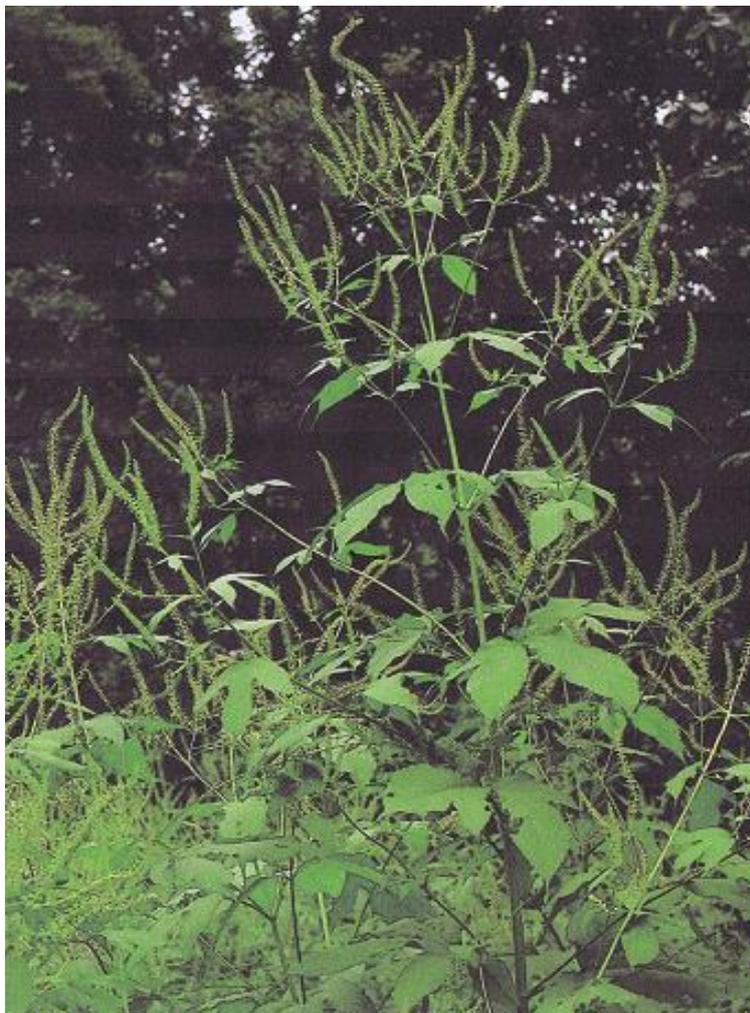
ヨモギ

<用語の説明>

- ・対生=茎から左右同時に出る
- ・互生=茎から交互にずれて出る

2) オオブタクサ (キク科)

- ・ 高さは 3m ほどになり、茎は太く (2~4cm)、群生し林のようになることもある。
- ・ 葉は長い柄があって対生し、掌状に切れ込み 20~30cm と大きい。両面ともザラツク。
- ・ 葉の形が桑の葉に似ているところからクワモドキの別名がある。
- ・ 花は夏から秋、茎の頂に長い穂を出して、ブタクサに似た小さな地味な花をつける
- ・ 道端や林縁、畑の縁、河川敷など、比較的肥沃な土地に生える。



オオブタクサの姿



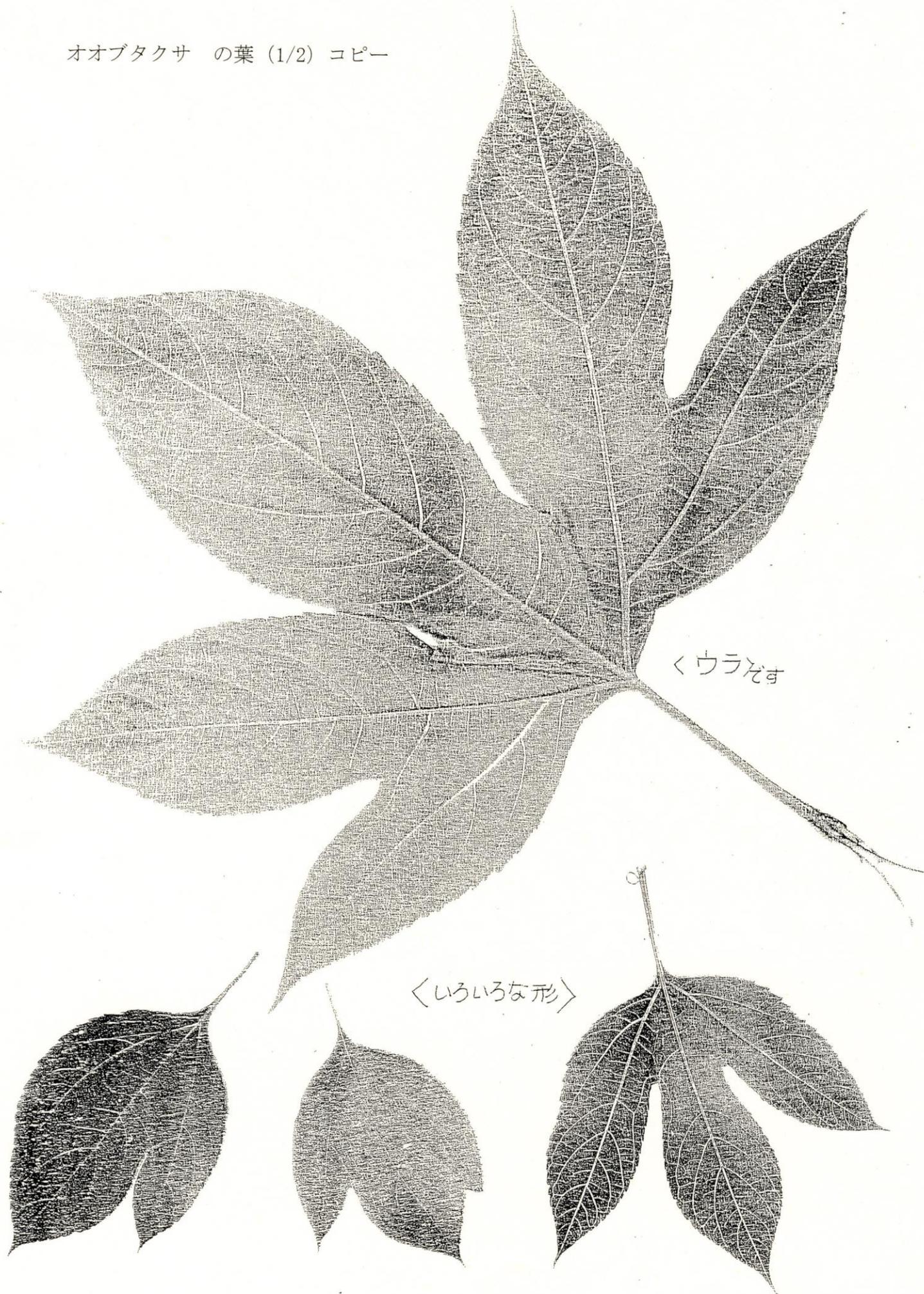
花の穂



芽出しの若い葉



繁茂している状況

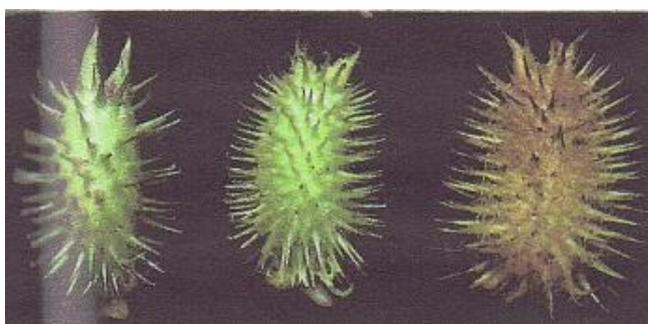


3) オナモミ類 (キク科)

- ・草丈は 50~120cm になります。
- ・果実の特徴がある植物。2~2.5cm の長球形で、鋭いかぎ状の棘が密生している。
- ・葉は互生で長い柄があり、葉の縁は3~5に切れ込んで、不揃いな粗い鋸歯がある。
- ・日本在来のオナモミは分布が減少し、絶滅の危機にあるといわれている。
- ・オオオナモミ、イガオナモミがあるが、区別は難しい(今回は分類しない)。
- ・生育環境は、水気のある道端や荒地地。



オオオナモミの姿



▼■果実の比較 左・オナモミ, 刺も毛も少ない。
中・オオオナモミ, 刺が密にあるが、毛はイガオナモミより少ない。
右・イガオナモミ, 3種のうち刺と毛が最も多い。



オオオナモミの葉

資料:「帰化植物写真図鑑」全国農村教育協会より

4) アメリカオニアザミ(キク科)

- ・高さ 80～50cm 程になります。
- ・全体に短い綿毛があり、茎にヒレがあり、葉にもヒレにも鋭いとげが生えている。
- ・茎は直立し、上部で枝分かれする。
- ・葉は長楕円形の切れ込みの多い形で、各先端には針のような鋭い棘をもつ。
- ・花は、夏～秋。各枝の頂に数個、淡紫紅色の花を上向きに咲かせる。
- ・花の下の総苞は卵状球形で鋭い棘があり、総苞片は反らないで開き、粘らない。



総苞片のトゲの様子

アメリカオニアザミ

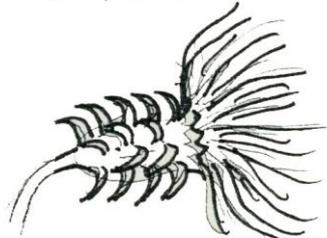


総苞片が
反らない

●間違いやすい植物・・・タイアザミ

- ・花は 9月～11月、紫紅色の花を横向き、または斜め下向きに咲く。
- ・総苞片は反りかえり、粘らない ・葉裏に毛はない ・茎にヒレはない。

タイアザミ



総苞片が
反る





5. 調査方法

1) 調査内容

各メッシュ内における調査対象種の有無と、観察地点における生育状況（個体数）。

2) 調査期間

平成21年9月6日（日）～10月4日（日）

3) 調査の手順

- ① 担当するメッシュの中で、任意の場所（その植物がありそうだと思う場所）をおおむね3～5地点選び、現地に行って対象種があるかどうか確認する。
- ② 調査した地点を記録票の地図に●等で記入し、番号をつける（メッシュごとに「1」から番号をつける）。
- ③ 調査した日付を表に記入する。
- ④ ②でつけた番号を表の「No.」欄に記入し、どの種があったか、「種の名前」欄の該当する番号を○で囲む。

※種名に○をつけるときは、1行につき1種のみとしてください。1地点に2種以上見つけた場合には、別な行に同じ調査地点番号をつけて、記入してください。

- ⑤ 調査した地点に該当種がなかった場合は「5 対象種は見つからなかった」を○で囲む。
- ⑥ その場所に生えている個体数（本数）を数え、該当する番号を○で囲む。

※その場で見わたせる程度の範囲で本数を数えてください。立っている場所から、おおむね10mくらいが目安です。
※河川敷等、広範囲に群落を形成している場合は、備考欄にその旨記載してください。

- ⑦ 備考欄には、その調査地点の情報として記録しておきたいこと、気づいたこと等を記入してください。
- ⑧ 特記事項欄にはメッシュ全体で気づいたことや印象などを記載してください。
- ⑨ 選んだ地点に行く途中で対象種を発見した場合は、その地点を地図に記入し、上記の手順で記録してください。
- ⑩ オナモミ類については果実を採集して、採集場所がわかるように、メッシュ番号と調査地点番号などを記載したメモとともに袋などに入れてください。

4) 記録票提出期限

平成21年10月13日（日）

5) 提出方法

記録票と採集した果実を相模原市立環境情報センターに送ってください。公民館等を通じて送付したい場合は、環境情報センター（電話 042-769-9248）に事前に連絡してください。

自然環境観察員全体調査記録票（平成21年度・秋）

メッシュ番号 ②下の地図でつけた番号を記入

調査員氏名 **相模 富太郎**

No.	調査日	種の名前	個体数	備考
1	9月12日	1 オオブタクサ ② ブタクサ 3 オナモミ類 5 対象種は見つからなかった	1 1~5本 2 6~10本 3 11本~	④該当する種の番号に○をつける
2	9月12日	① オオブタクサ 2 ブタクサ 3 オナモミ類 4 アメリカオニアザミ 5 対象種は見つからなかった	1 1~5本 2 6~10本 3 11本~	⑥生えていた本数に該当する番号に○をつける
2	9月12日	1 オオブタクサ 2 ブタクサ 3 オナモミ類 ④ アメリカオニアザミ 5 対象種は見つからなかった	① 1~5本 2 6~10本 3 11本~	駐車場の一角で、土が露出している。
3	9月12日	1 オオブタクサ 2 ブタクサ 3 オナモミ類 4 アメリカオニアザミ ⑤ 対象種は見つからなかった	1 1~5本 2 6~10本 3 11本~	⑤調査した地点に対象種がなかったら「5」に○をつける
	月 日	1 オオブタクサ 2 ブタクサ 3 オナモミ類 4 アメリカオニアザミ 5 対象種は見つからなかった	1 1~5本 2 6~10本 3 11本~	
	月 日		1 1~5本 2 6~10本 3 11本~	備考欄には、その調査箇所 の情報として、記録しておきたい 事項を記載してください
	月 日		1 1~5本 2 6~10本 3 11本~	

注意！
 記入は1行につき1種とします。
 このため、1つの調査地点で2種見つけた場合は、同じ番号の行を2つ作ります。
 (記入例は、地図上の「2」の地点にオオブタクサとアメリカオニアザミがあった場合です)



【特記事項】
 最近草刈りをした場所が多く、調査地点を選ぶのが難しかった。

特記事項には、調査メッシュ全体の印象や気づいた事などを記載してください

①調査した地点に印をつけて番号をつける

6. 「任意調査」について

平成 21 年度調査の「任意調査」として以下の 2 種類の調査を設定しました。
各自任意に調査頂き、調査をされた方は全体調査と同時に提出ください。

1) アメリカオニアザミの分布調査 (担当メッシュ以外)

アメリカオニアザミを、自分の担当メッシュ以外で発見した場合に、「任意調査記録票」に記録します。

2) オナモミの地方名調査

オナモミの地方名（方言名、別名）を調査します。皆さんが使ったことがある名前、知っている名前と、それが使われている地方（都道府県など）を「任意調査記録票」に記入します。

3) 提出について

全体調査の記録票と同時に提出してください。

自然環境観察員任意調査記録票（平成21年度・秋）

調査者氏名 _____

アメリカオニアザミの分布調査

全体調査の受け持ちメッシュ以外で、アメリカオニアザミを見つけたら、この調査票で報告してください。

No.	調査日	見つけた場所(住所、目印となる建物など)	個体数	備考
	月 日		1 1～5本 2 6～10本 3 11本～	
	月 日		1 1～5本 2 6～10本 3 11本～	
	月 日		1 1～5本 2 6～10本 3 11本～	
	月 日		1 1～5本 2 6～10本 3 11本～	
	月 日		1 1～5本 2 6～10本 3 11本～	
	月 日		1 1～5本 2 6～10本 3 11本～	
	月 日		1 1～5本 2 6～10本 3 11本～	

オナモミの地方名調査

オナモミには、面白い地方名があります。知っているものがあれば下記に記入してください。「子どもの頃こう呼んでいた」という程度で結構です。

あなたの知っているオナモミの別名

それはどこで使われている名称ですか(都道府県など)

7. その他の一般的注意事項

「安全面」

- ・ 調査は、日中に行ってください。
- ・ 高校生以下の方は、なるべく一人では行かないでください。行くときは家族に行き先を知らせてください。
- ・ 工場や河川敷、崖など、危険な場所には無理して立ち入らないでください。
- ・ 水辺の植物を観察する際は、水の流れや深みなどに充分注意してください。

「その他」

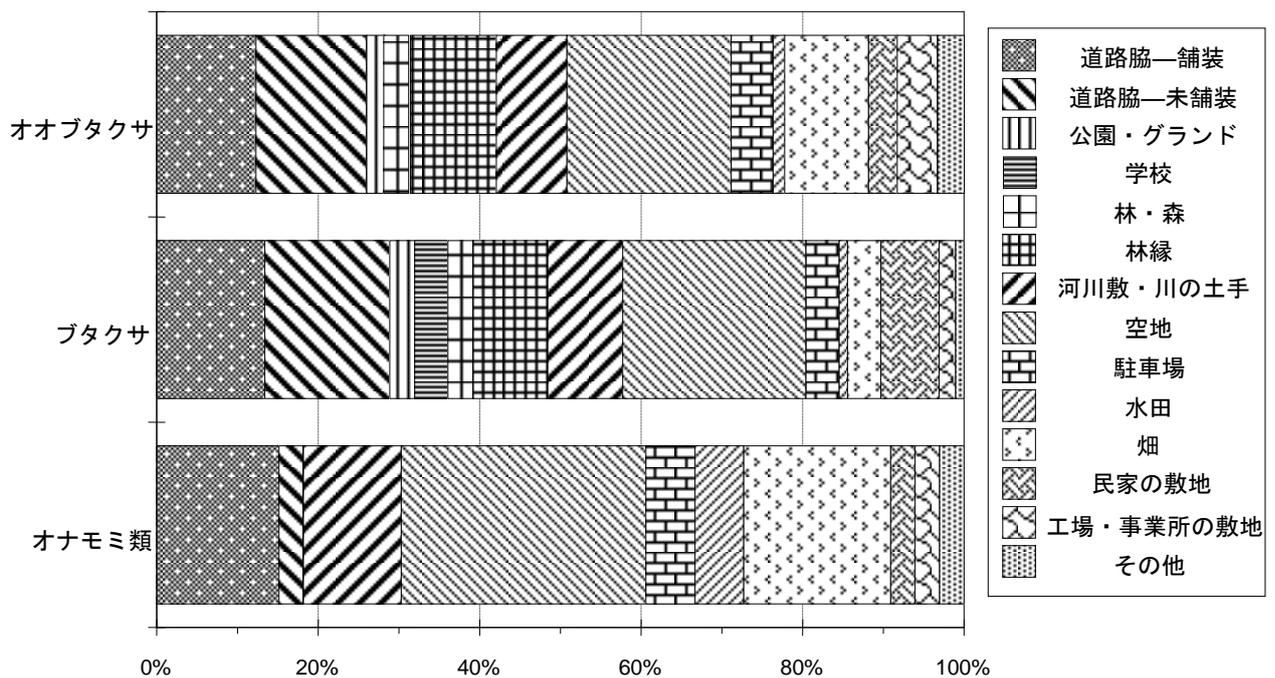
- ・ 工場や農地など、民有地に無断で立ち入らないでください。
- ・ 学校などの敷地内で調査する際は、管理者に確認してから敷地に入るようにしてください。(注:事前調整など個人で対応しきれない場合は、環境情報センターにご相談ください。)
- ・ 双眼鏡を使う場合は、人ごみや民家などに注意し、誤解を招く使い方をしないでください。
- ・ 調査時には、登録証を携行してください。

◎万一、調査できなくなった方は、早急にお申し出ください。

表2-6 生息していた周辺環境

	道路脇—舗装	道路脇—未舗装	公園・グラウンド	学校	林・森	林縁	河川敷・川の土手	空地	駐車場	水田	畑	民家の敷地	工場・事業所の敷地	その他	合計
オオブタクサ	52	58	9	1	13	45	37	86	22	6	44	15	21	14	423
ブタクサ	13	15	3	4	3	9	9	22	4	1	4	7	2	1	97
オナモミ類	5	1	0	0	0	0	4	10	2	2	6	1	1	1	33

図2-5 生息していた周辺環境



【オオブタクサ】

空地など土のない市街地以外では満遍なく生えています、ブタクサハムシに食害されていたものが多いのも特徴です。

ブタクサに比べて、日当たりが良ければ木の様になって大きくなり、茎はよく分岐して種子も沢山つけるので、繁殖力が旺盛で到る所に見られています。

分布は、市内 2/3 に生育しており、相模原の上段部よりも中・下段域に多く分布しています。

【オナモミ】

約30メッシュで生えていたのは全てオオオナモミで境川沿いは4ヶ所と少ない結果となりました。確認メッシュが少ないのは、子供達が戸外であまり遊ばなくなり、ひっつき虫であるオナモミ類が衣服について運ばれなくなったので、いろいろなところで見られなくなったのかもしれませんが。

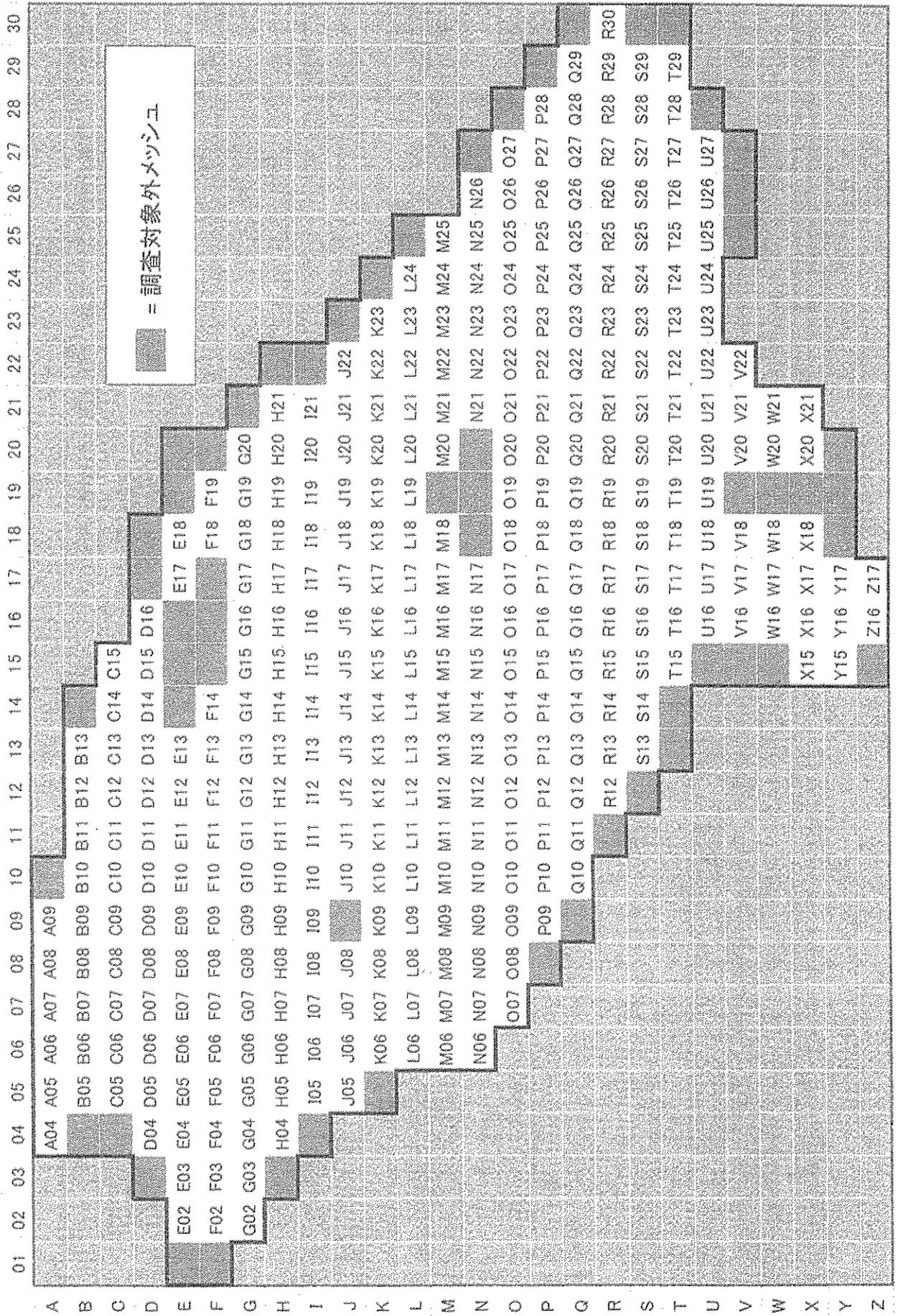
また、意外なところでは、舗装道路脇で5件報告があったことです。



9・参考図書など

- ・ 指標生物・自然を見るものさし（財・日本自然保護協会 1994）
- ・ 敷き・動植物前線（百瀬成夫 1998）
- ・ 生き物地図が語る街の自然（浜口哲一 1998）
- ・ 世界有用植物事典（堀田満 他 1989）
- ・ 山溪ハンディ図鑑 野に咲く花（林弥栄 1989）
- ・ 自然観察シリーズ 野の植物（牧野晩成 1976）
- ・ 野外観察ハンドブック 校庭の雑草（岩瀬徹 他 1987）
- ・ ミニ雑草図鑑 雑草の見分け方（廣田伸七 1996）
- ・ 日本の野生植物Ⅱ・Ⅲ（佐竹義輔 1081）
- ・ 原色日本帰化植物図鑑（長田武正 1976）
- ・ 日本帰化植物写真図鑑（清水・森田・廣田 2001）
- ・ 日本の帰化植物（清水建美 2003）
- ・ 緑の侵入者たちー帰化植物のはなしー（浅井康宏 1993）
- ・ エコロジーガイド 日本の帰化植物（鷺谷いずみ・森本信生 1993）
- ・ 外来種ハンドブック（日本生態学会編 2002）

メッシュ見取り図



メッシュ目印一覧

メッシュ番号	目 印	メッシュ番号	目 印
A04	華蔵院、森下バス停	F09	橋本ゴルフセンター
A05	相原当麻田自治会館、相原保育園	F10	柴胡ヶ原墓地、東プレグランド
A06	当麻田小学校西側、新町幼稚園	F11	JR南橋本駅
A07	当麻田小学校東側、JR横浜線	F12	ホームセンターコーナン東側、氷川神社西側
A08	元橋本町交差点、相模原インドアテニス	F13	氷川神社東側
A09	瑞光寺、橋本本町バス停	F14	JR相模原駅
B05	相原小学校	F18	補給廠東北側、富士工業
B06	星の子保育園、新日鐵エンジニアリング	F19	相模つばさ幼稚園
B07	相原中学校、大和製罐	G02	相模川、諏訪森下頭首工
B08	橋本高校、橋本郵便局	G03	神奈川県内水面試験場、上大島キャンプ場
B09	旭小学校	G04	老人福祉センター 溪松園
B10	北消防署、橋本4丁目市街地住宅	G05	ロシナンテ、井上醤油
B11	宮上小学校東側、蓮乗院	G06	大沢小学校
B12	東橋本ひまわり保育園	G07	九沢小学校、大沢中学校
B13	境川坂本橋、天縛皇神社	G08	大沢団地、いなげや
C05	二本松こどもセンター	G09	塚場交差点
C06	日本板硝子	G10	国道129号、日電寮バス停
C07	ロイヤルホームセンター、大和製罐	G11	日本電気橋本技術センター、JR相模線
C08	北警察署、オラリオンマンション	G12	清新6丁目付近、清新小学校西側
C09	相原高校、協同病院	G13	清新小学校
C10	JR橋本駅	G14	ダイエー、さがみ夢大通りバス停
C11	相模原みどり幼稚園	G15	相模原4～6丁目付近
C12	東橋本2丁目交差点、田村電機製作所	G16	伊藤病院、補給廠
C13	小山白ゆり幼稚園	G17	上矢部団地、麻布大学西側
C14	宮下本町2丁目、境川昭和橋	G18	麻布大学、麻布大淵野辺高校
C15	宮下本町1丁目、境川小山橋	G19	大野北中学校
D04	二本松保育園	G20	日枝神社、境川宮前橋
D05	内出中学校北側、湘北病院	H04	大島、相模川
D06	職業能力開発総合大学校	H05	大島交差点、法性寺
D07	峡の原工業団地	H06	日々神社、相和病院
D08	ホームセンターくろがねや	H07	JA営農センター
D09	国道16号、東京電力橋本変電所	H08	明神平自治会こども広場、田名葛輪
D10	旭中学校	H09	九沢橋、金泉寺
D11	小山公園スポーツ広場	H10	下九沢団地
D12	宮下1丁目、協栄産業前バス停	H11	昭和電線ケーブルシステム
D13	三菱電機	H12	小町通2丁目、清新学校給食センター
D14	すすきの町、こぼと児童館	H13	清新中学校
D15	宮下本町1丁目、補給廠北側、宮下さくら公園	H14	相模原消防署
D16	補給廠北側、丸山自治会梅の木子ども広場	H15	相模原市役所
E02	カインズホーム南側	H16	村富神社
E03	大島、井上養鶏場、スリーエフ	H17	JR矢部駅
E04	県営大島団地、市営上九沢住宅	H18	淵野辺総合病院、矢淵陸橋
E05	下九沢内出交差点	H19	淵野辺小学校
E06	職業能力開発総合大学校	H20	東京電力大野変電所、グルメシティ
E07	相模原北公園、北清掃工場	H21	根岸橋
E08	橋本台収集事務所、橋本台リサイクルスクエア	I05	神沢スポーツ広場、神沢不動尊
E09	橋本自動車学校	I06	水場バス停
E10	国道16号、129号、セントラル自動車	I07	三菱重工業西側
E11	小山小学校、大河原陸橋	I08	三菱重工業北門
E12	小山2丁目 たけのこ保育園	I09	田名葛輪、NTT田名電話交換センター
E13	向陽小学校西側、矢掛立体交差	I10	てるて幼稚園
E17	補給廠北側、上矢部1丁目付近	I11	横山小学校
E18	上矢部2丁目、御嶽神社	I12	横山公民館
F02	諏訪森下橋	I13	相模原高校
F03	相模川自然の村、ビレッジ若あゆ	I14	JA農協会館
F04	大島幼稚園、長徳寺	I15	税務署、相模原中央病院
F05	大島小学校、相模原総合高校	I16	富士見小学校
F06	相模原総合高校東側、上九沢こどもの広場	I17	国道16号鹿沼台交差点
F07	六地藏交差点	I18	鹿沼公園、市立図書館
F08	上中の原団地、フードワン	I19	共和中学校、JR淵野辺駅

メッシュ番号	目 印	メッシュ番号	目 印
I 2 0	淵野辺5丁目、青山学院大学	M 1 0	相模田名高校
I 2 1	淵野辺本町4丁目 皇武神社	M 1 1	新宿小学校
J 0 5	相模川、神沢不動尊	M 1 2	上溝南中学校
J 0 6	清岩寺、古清水自治会館	M 1 3	南上溝保育園、亀ヶ池八幡宮
J 0 7	三菱重工業南側	M 1 4	道保川公園西、丸崎ゴルフ練習場
J 0 8	三菱重工業南門	M 1 5	道保川公園、七曲り、陽光台公民館
J 1 0	国道129号、鳩川、四ッ谷児童館	M 1 6	緑が丘中学校北側
J 1 1	上溝1丁目、横山丘陵緑地(蛭沢地区)	M 1 7	青山学院大学グラウンド
J 1 2	横山公園、よこやま幼稚園、日金沢橋	M 1 8	青葉3丁目 青葉の郷
J 1 3	さがみはらグリーンプール	M 2 0	相模原ゴルフクラブ入口・大野台中央小
J 1 4	星が丘1丁目、横山歩道橋	M 2 1	相模原養護老人ホーム
J 1 5	千代田5丁目付近	M 2 2	大野台小学校
J 1 6	千代田4丁目、千代田保育園	M 2 3	南消防署大沼分署
J 1 7	市営東団地、弥栄郵便局	M 2 4	市営斎場
J 1 8	国道16号淵野辺十字路	M 2 5	古淵鶺野森公園、グリーンハイツ
J 1 9	国道16号共和4丁目歩道橋、コジマ	N 0 6	田名八幡宮、相模川小沢頭首工
J 2 0	共和2丁目付近、新田稻荷神社	N 0 7	水郷田名団地、高田橋
J 2 1	カルピス、相模中央自動車学校	N 0 8	田名半在家・田名陽原、南光寺
J 2 2	東淵野辺2丁目付近、龍像寺	N 0 9	田名テラス、田名団地
K 0 6	清水保育園、清水入口バス停	N 1 0	田名バーディゴルフ
K 0 7	田名清水、田名ひだまり公園	N 1 1	田名新宿
K 0 8	田名四ッ谷自治会子ども広場	N 1 2	国道129号上溝南中学校信号
K 0 9	新キャタピラー三菱西側	N 1 3	JR番田駅
K 1 0	国道129号、新キャタピラー三菱	N 1 4	安楽寺、上溝南こどもセンター
K 1 1	鳩川幼稚園、市営鳩川住宅	N 1 5	上溝虹吹、清泉の郷
K 1 2	上溝本町交差点、姥川橋	N 1 6	緑が丘中学校、消防署緑が丘分署
K 1 3	JR上溝駅、上溝中学校	N 1 7	相模原浄水場
K 1 4	星が丘小学校	N 2 1	大野台8丁目、木もれびの森
K 1 5	OKストア	N 2 2	大野台中学校
K 1 6	並木小学校	N 2 3	慰霊塔、相模ひまわり幼稚園
K 1 7	弥栄小学校、弥栄中学校	N 2 4	相模原南警察署
K 1 8	市立博物館、宇宙科学研究所	N 2 5	鶺野森中学校
K 1 9	共和小学校南側、由野台中学校	N 2 6	鶺野森団地、幸延寺
K 2 0	国道16号共和交差点、大野台郵便局	O 0 7	相模川高田橋
K 2 1	国道16号嶽の内入口付近	O 0 8	望地弁天キャンプ場
K 2 2	たけのうち幼稚園、淵野辺東小学校	O 0 9	バス折返場(望地キャンプ場入口)
K 2 3	古淵1丁目、淵野辺東小学校東側	O 1 0	田名聖地霊園
L 0 6	相模川(右岸に葉山島青少年広場)	O 1 1	田名塩田4丁目 東急建設工場
L 0 7	堀の内交差点、田名北ふれあい広場	O 1 2	田名塩田1丁目、テクノバル田名工業団地
L 0 8	田名北小学校	O 1 3	上溝南高校
L 0 9	八千代銀行田名支店	O 1 4	上溝南小学校南側、諏訪神社
L 1 0	田名工業団地入口バス停	O 1 5	姥川中ノ虹橋、山谷バス停
L 1 1	上溝高校南側、石橋自治会館	O 1 6	下溝古山公園スポーツ広場
L 1 2	上溝小学校、ちとせ橋交差点	O 1 7	神奈川中央交通麻溝操車場
L 1 3	全農ミート	O 1 8	北里大学
L 1 4	陽光台小学校	O 1 9	麻溝台高校
L 1 5	陽光園、光が丘小学校	O 2 0	北里2丁目、相模原ゴルフクラブ
L 1 6	青葉小学校、県営上溝団地	O 2 1	木もれびの森、大野台8丁目バス停
L 1 7	弥栄高校、相模原球場	O 2 2	西大沼3丁目、4丁目付近、大沼変電所
L 1 8	銀河アリーナ、淵野辺公園	O 2 3	大沼小学校、大沼神社、大沼公民館
L 1 9	由野台中学校南側、松が丘2丁目交差点	O 2 4	老人福祉センター若竹園
L 2 0	大野台中央小学校北側、凸版印刷	O 2 5	若松小学校
L 2 1	大野台公民館、ファッションセンターしまむら	O 2 6	鶺野森3丁目付近 鹿島台小学校
L 2 2	シマチュウホームセンター、ジャスコ	O 2 7	鹿島台小学校
L 2 3	JR古淵駅、イトーヨーカドー	P 0 9	田名望地、望地の渡し
L 2 4	JR横浜線古淵陸橋、ひの木第一子供広場	P 1 0	リバーサイド田名ホーム
M 0 6	田名幼稚園	P 1 1	カインズホーム、塩田さくら橋
M 0 7	相模川ふれあい科学館	P 1 2	テクノパイル田名工業団地、塩田ホーム
M 0 8	田名小学校、田名中学校	P 1 3	塩田原交差点、東京電力北相模変電所
M 0 9	相模田名高校西側、たんぽぽの家	P 1 4	東京電力北相模変電所、スーパーなかや

メッシュ番号	目 印	メッシュ番号	目 印
P 1 5	当麻 あざみがや交差点	S 2 0	若草小学校、消防麻溝台分署
P 1 6	当麻 上中丸交差点	S 2 1	桜台小学校、相模台中学校、国立病院
P 1 7	相模原沈殿池	S 2 2	相模台小学校
P 1 8	北里大学病院	S 2 3	南台4丁目、上鶴間(米軍住宅)
P 1 9	麻溝台高校	S 2 4	南台郵便局、コナミススポーツクラブ
P 2 0	北里大学東病院	S 2 5	鶴の台小学校
P 2 1	相模台収集事務所、木もれびの森	S 2 6	森下記念病院
P 2 2	グレープの里、大沼交差点	S 2 7	くぬぎ台小学校
P 2 3	大沼小学校南側、若松郵便局	S 2 8	相模林間幼稚園
P 2 4	神奈川総合産業高校、相模女子大学	S 2 9	住宅展示場、上鶴間高校南側
P 2 5	大野南中学校、相模大野高校	T 1 5	相模川 光明学園野球場
P 2 6	相模大野中央公園、国道16号谷口陸橋	T 1 6	JR下溝駅
P 2 7	谷口幼稚園、谷口中学校北側	T 1 7	相陽中学校、大下坂
P 2 8	谷口小学校	T 1 8	峰山霊園、勝坂青少年広場
Q 1 0	相模川(望地キャンプ場下流)	T 1 9	新磯野、峰山霊園入口交差点
Q 1 1	スーパーアルプス、田名病院	T 2 0	若草中学校
Q 1 2	JA緑化センター	T 2 1	相模台団地
Q 1 3	夢の丘小学校、当麻市場交差点	T 2 2	相模台出張所
Q 1 4	光明学園相模原高校、相模原養護学校	T 2 3	鶴ヶ丘団地
Q 1 5	JR原当麻駅北側、スーパー三和	T 2 4	松が枝公園、小田急線
Q 1 6	姥川下原橋(横浜水道道)	T 2 5	東林保育園
Q 1 7	県立相模原公園	T 2 6	東林出張所、東林小学校
Q 1 8	県立相模原公園	T 2 7	東芝林間病院
Q 1 9	麻溝台工業団地、KYB	T 2 8	上鶴間中学校
Q 2 0	麻溝台2丁目、ニコン	T 2 9	くぬぎ台保育園、深堀ポンプ場
Q 2 1	麻溝台中学校	U 1 6	三段の滝下広場
Q 2 2	双葉小学校	U 1 7	相陽中学校、誠心相陽幼稚園
Q 2 3	御園1、2丁目付近、御園東ふれあい広場	U 1 8	勝坂歴史公園スポーツ広場
Q 2 4	谷口台小学校	U 1 9	新磯野、相武台中学校北側
Q 2 5	市南合同庁舎、ロビーシティ	U 2 0	もえぎ台小学校、相武台高校
Q 2 6	小田急相模大野駅、伊勢丹	U 2 1	相武台団地
Q 2 7	相模大野病院、谷口中学校	U 2 2	相模台3・4丁目
Q 2 8	鶴園小学校北側、稻荷神社	U 2 3	相模台2丁目、(座間市相模が丘)
Q 2 9	上鶴間本町8丁目付近 上鶴間橋	U 2 4	小田急相模原駅、相南4丁目
R 1 2	相模川、相模原ポンプ場	U 2 5	東海大相模高校
R 1 3	如来堂、無量光寺	U 2 6	消防東林分署
R 1 4	当麻東原公園、水田	U 2 7	東林間8丁目付近
R 1 5	麻溝小学校	V 1 6	磯部頭首工公園、郷土民族資料館
R 1 6	天応院	V 1 7	消防新磯分署、磯部八幡宮、勝坂遺跡
R 1 7	麻溝公園スポーツ広場	V 1 8	磯部2114付近 勝源寺
R 1 8	麻溝公園	V 2 0	相武台グリーンパーク
R 1 9	総合体育館南側	V 2 1	相武台小学校
R 2 0	麻溝台保育園	V 2 2	行幸道路、村富線交差付近
R 2 1	顕正寺、ひかり幼稚園	W 1 6	能徳寺、御嶽神社
R 2 2	御園4、5丁目、ふれあいの森、御園児童館	W 1 7	新磯小学校、新磯保育園
R 2 3	みゆき台団地バス折返所、米軍相模原住宅	W 1 8	新戸、米軍キャンプ
R 2 4	豊町、黒河内病院	W 2 0	緑台小学校、新磯野郵便局
R 2 5	県高相合同庁舎、プラザシティ	W 2 1	相武台出張所
R 2 6	新町中学校北側	X 1 5	相模川
R 2 7	消防上鶴間分署、南大野幼稚園	X 1 6	新戸、水田
R 2 8	上鶴間公民館、大野小学校	X 1 7	新磯出張所、れんげの里あいそ
R 2 9	鶴園小学校南側、長島神社	X 1 8	新磯高校
R 3 0	中和田幼稚園、上鶴間高校	X 2 0	キャンプ座間No4ゲート、相武台郵便局
S 1 3	昭和橋上流河川敷	X 2 1	小田急相武台前駅
S 1 4	昭和橋スポーツ広場	Y 1 5	新戸スポーツ広場北側
S 1 5	水田、八景の棚	Y 1 6	新戸、泰成建工
S 1 6	姥川谷戸橋、上谷開戸橋	Y 1 7	JR相模線相武台下駅、長松寺、
S 1 7	相陽台ホーム、相模が丘病院	Z 1 6	JR相武台下駅西側地域、水田
S 1 8	廃棄物処分場	Z 1 7	JR相武台下駅南側
S 1 9	小松会病院		

平成 21 (2009) 年度
相模原市自然環境観察員制度 身近な生き物調査

外来植物の調査
— 手 引 き —

発行日 平成 21 年 8 月 25 日
発 行 相模原市立環境情報センター
〒229-0036 相模原市富士見 1-3-41
Tel 042-769-9248 Fax 042-751-2036
E - mail kankyo@eic - sagamihara.jp
協 力 自然環境観察員、相模原市役所、相模原市立博物館

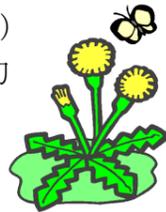
平成21年度 下半期の予定

全体調査

- ◆ 調査結果のメッシュ地図 11月下旬
- ◆ 調査結果の考察 第1回 12月8日(火) 午前
第2回 12月15日(火) 午前
- ◆ 報告書作成 12月～1月下旬
- ◆ 平成21年度第3回かんきょう学習セミナー 3月13日(土)
- ◆ 平成22年度第1回かんきょう学習セミナー 3月13日(土)
- ◆ 年次報告書発行 2月下旬

専門部会日程

- 湧水調査部会 (植物部会・河川生物相部会合同) 1月24日(日)
雨天予備日 1月31日(日)
- 野鳥調査 2月6日(土)
雨天予備日 2月7日(日)



平成22年度自然環境観察員募集について

- ◎ 平成22年度の観察員さんを募集します。是非継続登録と周辺の方々への募集呼びかけにご協力をいただきますようお願いいたします。
- ◎ 来年度の調査対象種はタンポポとジョロウグモです。

平成21年4月から環境情報センターの運営は指定管理者として「NPO法人さがみはら環境活動ネットワーク会議」が担当することになりました。今後ともよろしくお願いたします。



平成21年10月発行
発行 相模原市立環境情報センター
〒229-0036
相模原市富士見1丁目3番41号
TEL 042(769)9248 (直通)
FAX 042(751)2036 (直通)
E-mail kankyo@eic-sagamihara.jp

相模原市自然環境観察員

自然観察かわらばん

平成21年10月 発行

平成21年度 第1号

全体調査 お疲れさまでした

4月26日第1回「かんきょう学習セミナー」で環境観察員制度の説明を、9月6日に第2回「かんきょう学習セミナー」で今年度調査種の説明を行い、この秋に全体調査を実施することが出来ました。今年度は自然環境観察員制度の運営の見直しを進めており、全体調査は秋の1回としました。

今年度の調査対象種は、全体メッシュ調査にブタクサ類、オナモミ類、任意調査でアメリカオニアザミを選びました。9月6日～10月4日までの期間、79名の観察員が調査に当たられ、報告をいただきました。今後、データの解析、5年前調査との比較などの、まとめ作業に入ります。本年度は皆さんと一緒に考察を行う予定です。ご協力をいただける方は、ご連絡ください。

第2回セミナー報告 9月6日のセミナー参加者は約50名。



秋山氏の講演↑

相模原市立博物館学芸員の秋山幸也氏に、調査する目的や、「外来種」の概念、進入経路、影響や問題点、対象種の特徴など、基本的なことからご講演をいただきました。

その後、オオブタクサやアメリカオニアザミなどの実物を見ながら、その特徴を西田さんから説明していただきました。

「都市化の乾燥した空間に思わぬ緑化をもたらしていると考えれば外来種の駆除という点では、相対的な判断をしていかざるを得ない」との講師独自の見解が披露されたのが印象的でした。



オオブタクサ



オナモミ



アメリカオニアザミ

専門部会の活動報告



野鳥調査部会



本年度上半期の野鳥調査は、春季（渡り期）調査を5月9日（土）に夏季（繁殖期）調査を6月13日（土）に行いました。八瀬川流域から相模川望地弁天耕地にかけてのルートでA班が、境川流域をB班が担当し、A班のリーダーを内田さんにB班のリーダーを後藤さんをお願いしました。

野鳥調査の目的のひとつに過去の生息確認との比較があります。本年度は平成11年度（10年前）に行われた基礎調査との比較考察を予定しています。

八瀬川～相模川流域



R2（八瀬川流域沿い）



R3（相模川沿いに広がる耕作地）



定点 P4（相模川に面した土手上）

境川流域

都市部の境川でカワセミを確認

R10（坂本橋～平成橋）



P11（古淵の鹿嶋神社）



河川生物相調査部会

河川生物相調査部会現地調査

7月11日（土）、上大島キャンプ場親水池下流水路 9時30分～13時

好天に恵まれ、部会員及び指導者2名あわせて11名が参加し調査が行われました。

人工的に掘り下げられた親水池の水は砂利層を透過し、とてもきれいです。この池から流れる水路は水深も浅く、比較的安全に生き物を探ることが出来ます。気温、水温、水深、流速なども測り、川の中へ運動靴のまま入りました。

外観からだけでは気づかないさまざまな生き物を目の当たりにして、参加者全員が感動。子どもにかえったように夢中で川に親しんでいました。

調査指導の河川生物研究クラブの小林さん、木村さん、ありがとうございました。



植物調査部会



本年度第1回目の植物部会会議を5月18日に開き、今後の方針を議論しました。

■ 決まったこと

(1) 楽しく観察する観点からピクニック観察会もあり、同じ場所で複数回観察会を実施する。

① 6月14日に田名望地観察会を行う。 ② 10月に津久井城山公園の観察会を行う。

(2) 博物館主催のカワラノギクの調査・保護活動に協力する。

田名望地弁天地区の植物観察会（6月14日 参加者12名）

豊かな自然の残っている田名望地弁天地区。植物調査の前段階に植物を知るための観察会を、自然観察指導員の西田さんの指導のもとに行いました。集合地の外来植物から見始め、農地、河川敷、小川沿いなどで観察しました。

お弁当の前に相談。豊かな望地の季節による植物変化を継続して観察したいという希望のもとに、希望者で行うことにし、藤井さんにとりまとめ役をお願いしました。



湧水調査部会



湧水調査は「第二次（平成19～23年度）相模原市自然環境観察員制度湧水調査部会事業計画」によって年次計画が定められており、本年度は5箇所の調査を豊水期と渇水期の2回行います。

9月27日の調査実施に向けて7月23日に第1回の湧水部会会議を行いました。

9月27日（日）の調査当日は曇り時々晴れの天気、さわやかな調査日和でした。参加者は13人。湧水と同時に植物、河川生物相の部会メンバーにも参加いただき、心強い調査隊となりました。

参加者の皆さんありがとうございました。

調査5箇所 湧水台帳番号、No.14～No.18の5箇所。

14 相愛病院 15 当麻山公園 16 緑化センター裏 17 塩田ホーム脇水路 18 東急建工下

調査項目

湧水調査では水質、気温、水温、湧水量、DO、pH、EC、CODなど専門的かつ多岐に亘るので、経験者の協力・役割分担が不可欠でした。植物調査部会の皆さんには湧水の調査が終わるのを待って、植物の調査に入ってくださいました。

麻溝公民館集合で、下流方向の相愛病院から調査開始、八瀬川に沿って長距離を歩き、緑化センター裏の湧水地では不法投棄されたゴミの多さに驚き、スズメバチの群れが足元や水面を飛び交う中で大変な調査でした。午後3時、最後の調査ポイント付近の水田では丁度稲の刈り取り作業中の親子と会話することが出来、調査を終えた後のくつろいだひと時を味わいました。

自然観察かわらばん

平成22年 3月 発行

平成21年度 第2号

観察員の皆さま、本年度もご協力いただき大変ありがとうございました。おかげさまで、全体調査も各部会の調査・観察会もひととおり終えることができました。湧水調査では3部会の合同踏査を、野鳥では田名コースと境川コースの2班に分かれて、植物調査では交流を兼ねた春と秋の観察会を、河川生物相調査では水質との関連を意識した生き物探しを、それぞれ行うことができました。

各部会の方々からいただいた報告書をもとに、簡単ですが活動の概要をお伝えします。なお詳細な報告およびお寄せいただいたレポートについては年次報告に掲載いたします。

植物調査部会報告

活動内容

市内に残された豊かな自然を知るために、交流を兼ねて初夏と秋の2回、植物観察会を行いました。

6月14日(日) — 第1回観察会。田名望地の水田耕作地周辺。参加12人。崖沿いや土手、休耕田、水路沿いといった場所ごとの植物の種類や様子を観察しました。その後の季節変化を見ていきたいという意見が出て、7月11日以降、毎月任意の観察会が行われました。

10月17日(土) — 第2回観察会。県立津久井湖城山公園。参加者9人。津久井地域に豊かな自然が残されていることを知ることができました。また、調査シートの例をもとに記入方法などを学びました。



←記入の方法説明

博物館のカワラノギク保全事業への協力として、種まきを4月上旬に、草取りと清掃を6月25日に8人が参加、10月27日の観察会にも6人が参加しました。



神沢河川敷のカワラノギク・秋→

野鳥調査部会報告

実施時期と参加状況

春季調査	渡り期	5月 9日 (土)	A班 7人	B班 8人	計 15人
夏季	繁殖期	6月 13日 (土)	10人	7人	17人
秋季	渡り期	10月 24日 (土)	9人	6人	15人
冬季	越冬期	2月 6日 (土)	6人	6人	12人

調査場所

A班 田名バーディ下～田名塩田さくら橋。八瀬川水系沿いの耕作地。
田名望地弁天耕作地周辺ルートと土手沿い下流の最先端。

B班 境川が京王線高架と交差する坂本橋～平成橋と古淵鹿嶋神社。

調査結果

●A班田名コース 八瀬川沿いではカワラヒワ、ジョウビタキやモズの♂♀、ルリビタキ、シロハラとアカハラなどが、相模川コースではイカルの群れ、ホオジロの群れ、トビとノスリの争い、イワツバメの大群とヒメアマツバメなどが確認されました。



←田名バーディ下。春

八瀬川沿い。秋 →
聞き取りも参考となる。



←田名望地弁天耕作地。秋

土手の最先端で30分間の観察。2月には冷たい突風が吹く中、越冬したイワツバメの群れやヒメアマツバメが飛翔する様子を確認。

●B班境川コース 5月と6月の調査では、カルガモ、ハクセキレイ、イソシギ、ヒメアマツバメ、ヒバリ、カワセミ、イワツバメなどが確認されました。また橋本の高層マンションにイワツバメの営巣が確認されているとの報告や相模川コースでのイワツバメ越冬などとの関連は別途考察が必要と思われます。鹿嶋神社ではオナガ、コジュケイ、アオゲラなど、十年前には記録のない種が確認され、神社の森の環境変化との関連なども考察課題です。

湧水調査部会報告

実施時期と参加状況

豊水期の9月および渇水期の1月に、相模原市自然環境観察員3専門部会（湧水部会、植物部会、河川生物相）による合同調査を行いました。

豊水期 平成21年9月27日（日）調査参加者、13人

渇水期 平成22年1月24日（日）調査参加者、10人

調査場所

- | | | | |
|------|--------|----------------|---------------|
| 湧水番号 | No.1 4 | 当麻、相愛病院脇水路、県道下 | （前回 H15 年度調査） |
| | No.1 5 | 当麻、当麻山公園内 | （同上） |
| | No.1 6 | 市農協緑化センター裏 | （同上） |
| | No.1 7 | 田名塩田さくら橋下流 | （前回 H16 年度調査） |
| | No.1 8 | 東急建工下 | （同上） |

調査項目

水質等 気温 水温 DO（溶存酸素量） pH（水素イオン濃度） EC（電気伝導率） COD（化学的酸素要求量） 湧水量

植生環境 湧水地点周辺の樹林環境

河川生物相 湧水地点周辺の水生生物相



↑水質調査

湧水量測定↓



↑植物相と生き物調査



市農協緑化センター裏ではスズメバチの大群が水面を飛び回っていました。しかし、全員静かに行動することで、蜂から攻撃を受けることなく難を切り抜けました。



河川生物相調査部会報告

実施時期と参加状況

7月11日（土）参加者11人。

調査場所

上大島キャンプ場親水池下流水路。水深の浅い安全な範囲。

調査項目

川の水質環境と水性生物の棲息環境との関係を把握するのがポイント。

河川水の状態 — 水深、気温、水温、流速、パックテストによるCODなど。

川の生き物 — 確認できた水性生物を以下に列挙する。（単位：匹）

●魚類4種 シマドジョウ（3）、ヨシノボリ、（5）ウキゴリ（2）、チチブ（6）

●カゲロウの仲間2種 エルモンヒラタカゲロウ（1）、シロタニガワカゲロウ（1）

●トビケラの仲間4種 ヒゲナガカワトビケラ（100以上）（川の中で巣や成虫も確認）、
ナガレトビケラ（18）、ニンギョウトビケラ（10）、シマトビケラ（7）

●トンボの仲間6種 コオニヤンマ（7）、ダビトサナエ（4）、ハグロトンボ（36）
アオイトトンボ（4）、ミヤマカワトンボ（9）、オナガサナエ（2）

●その他8種 スジエビ（2）、ヌカエビ（3）、モンキーマメゲンゴロウ（3）、ヒメガ
ムシ（2）、カワニナ（2）、モノアラガイ（9）、シマイシビル（1）、アメンボ（3）



写真 大島キャンプ場親水池下流水路にて、川の生き物を探す。

平成22年3月 相模原市立環境情報センター発行

〒229-0036 相模原市富士見1丁目3番41号

TEL：042（769）9248（直通）

E-mail：kankyo@eic-sagamihara.jp

FAX：042（751）2036

ご意見・ご感想〈外来植物の調査〉

分類	項目	内容
意見	調査内容について	どのメッシュでもオオアレチノギク、オニノゲシが多かったように思う。これらについて調査しても良いのでは？ 担当のメッシュは、住宅地が中心で、管理された公園以外には、植物があるのは個人宅がほとんどです。特定植物以外に、緑のある場所の調査というのも必要かと感じました。
	調査方法・区域について	調査エリアはどの様に決めるのか。初めてのエリアは、不案内の為何をポイントにしたらよいか見当がつかない。 全体図に調査担当者の範囲を色鉛筆で指定していただくと自分の範囲がわかり易い 9/27 田名塩田4の八瀬川土手にあったオナモミは、まだ実が小さく若かった（採取不可）。調査の終了期間が早すぎないでしょうか？ 地図が小さく分かりにくい。もっと分かりやすく、目標なども示して欲しい。相手の立場になって作成して欲しい。ブタクサやオオブタクサは花粉症になるので油断は禁物、嚴重に注意。北アメリカから帰化されたもの一年草。市立体育館前にオオブタクサがあった。
	勉強会について	勤務の都合もあるので、勉強会の1カ月程度前に知らせてほしい。
	その他	14①アメリカオニアザミ・14②・③は線路のサクの中です。高さがありますので根から抜く様に草刈りの際に業者をお願いしてほしいと思います。外来植物として知っていただき皆さんで協力してなくて良い環境にしていきたいと思います。 自然環境観察員に応募する前に調査テーマが決まっていると、それによって応募するか否か決められるので良いのではないのでしょうか。
	驚きました	調査票が時々気になっていましたが、今日になってしまい申し訳ありませんでした。台風も気になり、急ぎ歩いてまいりましたが、以前あまり見掛けなかったイチョウの実があちらこちらと落ちているのにはびっくりしました。市としても、こまめに切り取っている姿しかなかったのですが、これからたくさん秋になったら落ちるのでしょうか？私としてはうれしい限りの秋姿も見られるのを楽しみにしているのですが？ ブタクサが見つからないのには、びっくりしました！あとアメリカオニアザミも見つからないのには、びっくりしました。オナモミは水辺がないので、期待はしていませんでしたが。
感想	困りました	調査メッシュの1つに変更があり、とまどいがありました。街の様子がわからず、道をどの様にいけば良いか等とまどった。
	残念でした	観察しやすい頃合いを逸したのか、どこでも見られた”ブタクサやオナモミ類”が全く見つけられなかったのは残念。 「ナシ」というのもデータ、とはいうものの、ブタクサ・オナモミ・アメリカオニアザミは「ナシ」で確認にいったみたい。・・・だから、面白くなかったね。（1の「楽しかったですか」はむなしいです） オオブタクサの景色は気が重い。外来種に汚染された景色は気分が晴れない。ツリガネニンジンが数株ある土手があり、少し気分が軽くなった。しかし本来の自然景観が失われている。・・・いうのは住民の心を貧しくしているかもしれない・・・と残念に思う。
	勉強になりました	動、植物にはまったく知識がなく、過去の「セミ」「七草」「野鳥」には凶鑑、CDを購入し、ぬかりなく対応しました。[知らない分野]を知る楽しみがあります オオブタクサがこんなにたくさん生えているとは思っていませんでした。他のは、探したけれども見つかりませんでした。

分類	項目	内容
感想	その他	<p>調査区域を限りなく調査したが、オオブタクサしか見つけることができず残念だった。『雉』の生息地を見つけたことが、最高の喜び。</p> <p>殆ど知らないことなので、広く知識を吸収することができました。少しでも貢献できる様にと考えておりますが、楽しく過ごしてきましたので感謝しています。ありがとうございました。</p>
その他	情報	<p>農作業をしている人、何人かに聞いてみたが例外なくオナモミを見なくなったと云っていた。</p> <p>①畑となっている処、空地で日当たりのよい処などには群生状態の処もある ②住宅地、コンクリート敷きになっている処は、手入れ、除草剤処理などにより、イノコヅチ、メヒシバ、オヒシバが目立ち多くなっている。</p> <p>1、「生産緑地」・[耕作地]は雑草が刈ってあり、調査種は見当たらなかった。2、雑草地・空地が徐々に減少している事は、調査対象緑地が減っていると思った。</p> <p>私の担当している範囲では、特に近年「都市化」が進み空地や草やぶがほとんど見当たりません。唯一草やぶが連なっている境川沿いも個人宅が立ち並び遊歩道もない状態なので、川の近くに入り込んでの調査が思うように出来ないのが現状です。</p> <p>今回担当外となったメッシュを通り貫ける途中に、5年前の調査で見つけたオナモミ類のあった場所（たった1ヶ所だけだった）を確認してみたが、今年はみられなかった。ブタクサもオニアザミも今回担当メッシュ、その他の自宅近くのメッシュでもみつけられなかった。5年前とは変化している？</p> <p>空地や未耕作畑等が草でおおわれている状況が少なくなっているように思われる。観察に行った空地やあぜ道が草刈りされているケースが多かった。</p> <p>・木にクズがからまっているのがすごく目につきました・アメリカオニアザミは観察できるかなと思っていましたが出来ませんでした（以前は見ましたが）・オナモミ類は以前観察した時もありませんでした。私の中では小さい時（福島県）見たのが最後の記憶になっています。</p> <p>市の公園や学校と自宅はそれぞれ手入れが行き届いており、雑草は少なく調査対象種はそこには見当たらなかった。空き地や駐車場等で雑草が多く見られた。</p>
	その他	<p>遅くなり申し訳ございません。</p> <p>知人3人と一緒に歩きました。</p> <p>メッシュの中を全て調べることは出来ません。歩いたルートを書き重点的に見た所にNo.を入れました。No.のないルートは対象種なしです。</p>

任期終了まで調査にご協力いただいた皆さん（平成21年度）

※ 敬 称 略

青木 喬	折笠 良子	鹿内 義敬	西田 和子
青野 久子	貝瀬 信	清水 輝男	野口 信
浅木 つる江	鹿島 敏夫	首藤 栄治	野口 靖夫
浅原 靖弘	河岸 花織	杉原 武男	野口 幸夫
浅原 米子	河岸 仁美	杉山 正明	早戸 正広
安達 桂	川崎 香代	瀬川 公男	原田 勇
荒谷 輝正	川村 悦子	仙田 肇	日吉 由美子
井口 建夫	川原田 稔	高崎 洋一	福田 昭三
池川 源基	木村 知之	高橋 孝子	藤井 孝之
市川 ケサノ	木村 光治	高橋 柳子	前川 義昭
今井 多美子	小泉 綾子	田口 常利	益子 弘
岩田 正利	後藤 裕子	武田 弘毅	松元 太洋
内田 英樹	小林 千代	田畑 房枝	宮崎 精励
内海 和美	小林 義博	為安 司	村山 史世
岡野 博	金銅 幸俊	富岡 英明	柳下 信男
小川 路人	齊藤 敬三	長岡 弘治	山口 富子
荻原 信行	齋藤 健夫	中川 博	横木 初美
小田 勇	佐藤 金三	中島 朋来	吉岡 歌子
小野 きく	澤口 範子	中村 有理子	吉岡 孝夫
小原 敬子	塩沢 徳夫	新倉 和宏	

平成23年3月発行

平成21年度 相模原市自然環境観察員制度 年次報告書

(発行) 相模原市立環境情報センター
〒252-0236
相模原市中央区富士見1丁目3番41号
TEL 042(769)9248(直通)
FAX 042(751)2036(直通)
電子メールアドレス: kankyo@eic-sagamihara.jp